

フィールドワークや第1回検討会にて挙げられた意見を、エリア全体共通、4つのゾーンごとに示す。

エリア全体共通

- (整備面)**
- ・都心部に残る豊かな自然環境は貴重であり、大事にするべきである。
 - ・整備によって自然を活かしたアクティビティ（虫捕り体験など）が失われてはいけない。
 - ・子どもや大人が安全に自然と触れ合える整備（水辺に近づきやすい親水空間）が必要である。
 - ・市民の憩いの空間となるような河川敷の整備が必要である。
 - ・数百年後も広瀬川の良さが残るような整備を検討するべきである。自然を保全するエリアをつくる等の工夫も必要である。
 - ・広瀬川で活動をしている市民や活動団体へアンケートやワークショップを開催し、幅広い意見を聞き取るべきである。
 - ・ハード整備をすることで、整備の管理責任が大きくなり、利便性が高まる一方で活動が制限されてしまう可能性がある。子供や大人が自然に触れる関わり方を学ぶなど、ソフト面の整備も必要である。
- (利活用面)**
- ・学びを提供する情報看板の設置などの工夫ができるとよい。
 - ・イベントのときだけではなく、広瀬川を「日常的に市民が訪れたくなる場所」とするための仕掛けが必要である。
 - ・地域の住民や通行人が気軽に訪れる空間にできるとよい。
 - ・屋台やキッチンカーなどの活用も含めた水辺エリアの利活用も考えられる。
 - ・地形や河床を間近で観察できる場所であり、様々な広瀬川自然体験学習（魚釣り、SUP、カヌー等）が実施されている。子どもや大人がこのようなイベントやアクティビティを経験して、日常的に広瀬川に関われるようになるという。
- (維持管理面)**
- ・草木が生い茂っており、美しい景観を損ねている。中州や河岸、園路、広場等の適切な維持管理が必要である。
 - ・維持管理は持続可能な手法を検討するべき（官民連携等含め）である。

1. 青葉山公園河川敷ゾーン

- (整備面)**
- ・青葉山公園（仙臺緑彩館）から河川敷へのアクセス性を向上
- (利活用面)**
- ・青葉山公園に訪れた子どもや大人が自然と触れ合える水辺利活用
 - ・歴史の学び場（石垣や取水口跡等）としての利用
 - ・野菜などの直売所等、地域の人や観光客が訪れる場としての利用
- (維持管理面)**
- ・イノシシ等の注意喚起看板の設置

2. 広瀬川仲ノ瀬緑地ゾーン

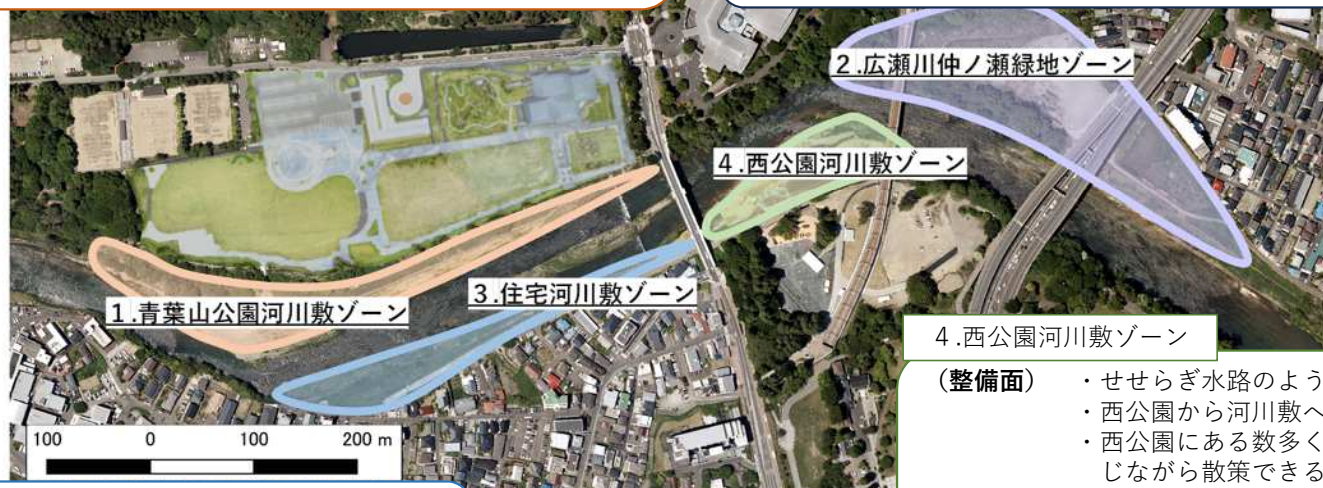
- (整備面)**
- ・段丘崖との比高差約15mを解消することで回遊性を向上
 - ・複合施設だけでなく、博物館、美術館も含めた回遊ルートを検討
 - ・回遊性を向上するための案内看板の設置及び看板や舗装等の統一によるエリアの一体感を醸成
- (利活用面)**
- ・建設予定の音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設との一体利用

3. 住宅河川敷ゾーン

- (整備面)**
- ・修景護岸への改修
- (利活用面)**
- ・水辺空間で過ごすきっかけづくり（フットパス等）
 - ・青葉山、大橋を望むビューポイント

4. 西公園河川敷ゾーン

- (整備面)**
- ・せせらぎ水路のような水辺に近づける空間を整備
 - ・西公園から河川敷へのアクセス性を向上
 - ・西公園にある数多くの石碑等を活かし、歴史を感じながら散歩できる案内看板の設置
- (利活用面)**
- ・陸間ゲートの常時開に向けた検討
 - ・イベント活動の場だけでなく、子どもや大人が日常的に過ごせる場としての利用
 - ・落ち着いた河川敷の景観を眺める場としての利用



令和 6 年度 広瀬川に対する市民意識調査

＜報告書＞

令和 6 年 1 2 月

仙台市建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

<目 次>

I 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象及び回収数	1
3 調査方法	1
4 調査内容	2
5 調査実施期間	2
6 調査機関	2
7 報告書の見方	2
 II 回答者のプロフィール	 3
1 年齢	3
2 居住区	3
3 流域区分	4
4 仙台在住年数	4
5 住まいから「広瀬川」までの距離	5
6 職場・学校から「広瀬川」までの距離	5
 III 集計結果	 6
1 広瀬川のイメージ等について	6
2 仙台市民が想う広瀬川の将来像	17
3 「広瀬川」へのアクセス頻度	28
4 「広瀬川」に関わる活動の状況について	32
5 「広瀬川」の保全・活用のためにしてみたいこと	40
 (付) 調査票	 42

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、広瀬川創生プラン改定に当たり、平成 13 年度、平成 26 年度に実施した市民意識調査結果との対比を行い、市民意識の変化の有無を調査することを目的に実施した。

2 調査対象及び回収数

(1)調査対象：仙台市内在住の 20 歳以上の方

(2)回収状況：発送数 1,500 サンプル、回収数 447 サンプル、回収率 29.8%

＊標本数の分配方法

- ・仙台市内の 64 中学校区を単位層とし、各層毎の母集団（令和 6 年 5 月 1 日現在の住民基本台帳に基く人口）の大きさに基き、まず 1,018 サンプルを比例配分した。
- ・次に、広瀬川流域の 15 中学校区については、各標本数が 50 となるように、482 サンプルを補充した。

3 調査方法

無記名式の質問用紙、郵送による配布・回収

4 調査内容

- (1) 「広瀬川」のイメージ
- (2) 「広瀬川」への関心度
- (3) 「広瀬川」に関心がない理由
- (4) 「広瀬川」についての考え方
- (5) 引き継ぎたいと思う「広瀬川」の良さ
- (6) 「広瀬川」の将来像
- (7) 「広瀬川」へのアクセス頻度
- (8) 「広瀬川創生プラン」および「広瀬川市民会議」の認知度
- (9) 「広瀬川」との関わり
- (10) 「広瀬川」のイベントや取り組みの認知状況
- (11) 「広瀬川」のイベントや取り組みへの参加・協力状況
- (12) 「広瀬川の保全」や「広瀬川に親しむ」活動について

(年齢、居住区、中学校区、仙台在住の年数、住まいから「広瀬川」までの時間、職場・学校から「広瀬川」までの時間)

5 調査実施期間

令和6年8月

6 調査機関

調査実施：仙台市建設局百年の杜推進部百年の杜推進課
集計受託：一般社団法人地域創生協議会

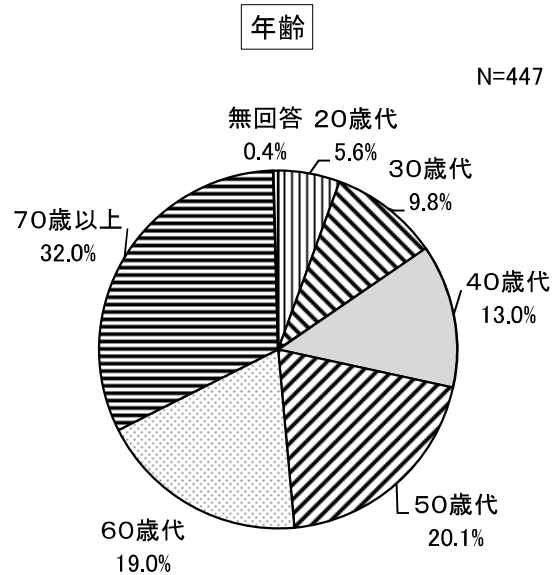
7 報告書の見方

- (1) 報告書中のNとは、その設問項目の回答者数または回答件数である。
- (2) %値は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記してある。したがって、必ずしも（単数回答の）合計が100.0%にならない場合がある。
- (3) 回答者が2つ以上の回答をすることができる質問（複数回答）では、回答件数の合計は回答者数（100.0%）を超える場合がある。
- (4) 調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

Ⅱ 回答者のプロフィール

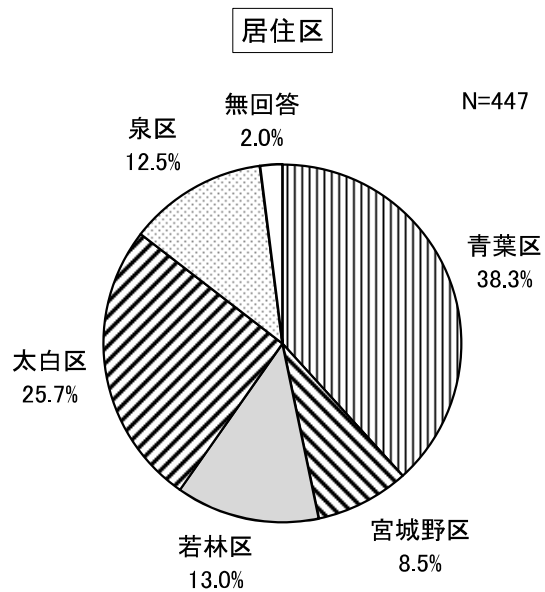
1 年齢

・ 20歳代	25人
・ 30歳代	44人
・ 40歳代	58人
・ 50歳代	90人
・ 60歳代	85人
・ 70歳以上	143人
・ 無回答	2人



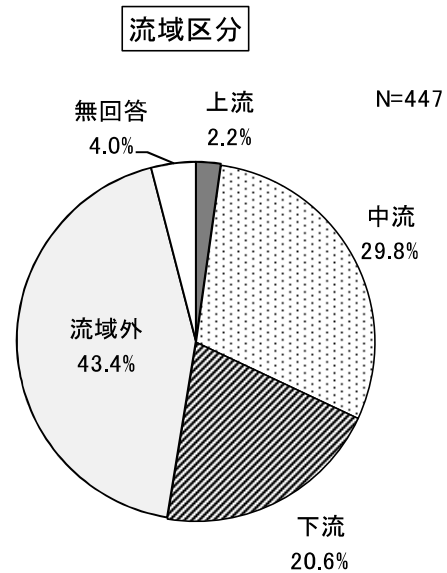
2 居住区

・ 青葉区	171人
・ 宮城野区	38人
・ 若林区	58人
・ 太白区	115人
・ 泉区	56人
・ 無回答	9人



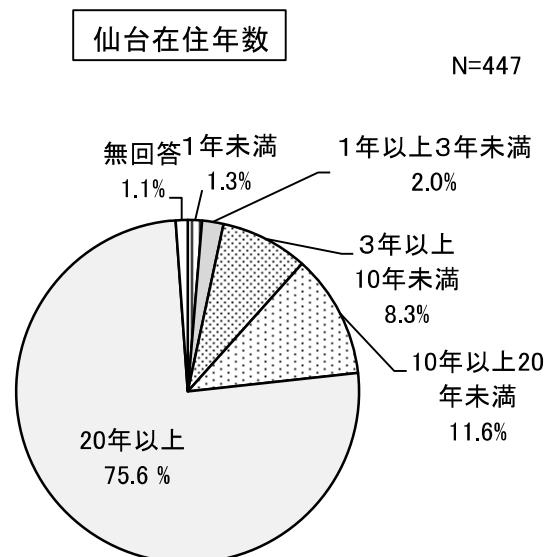
3 流域区分

・上流	10人
・中流	133人
・下流	92人
・流域外	194人
・無回答	18人



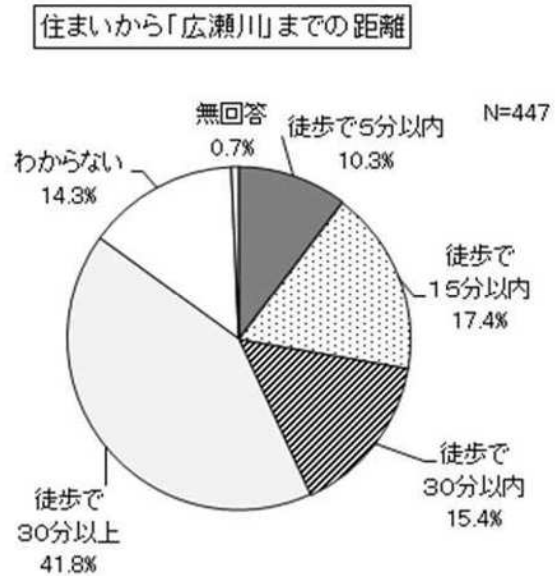
4 仙台在住年数

・1年未満	6人
・1年以上3年未満	9人
・3年以上10年未満	37人
・10年以上20年未満	52人
・20年以上	338人
・無回答	5人



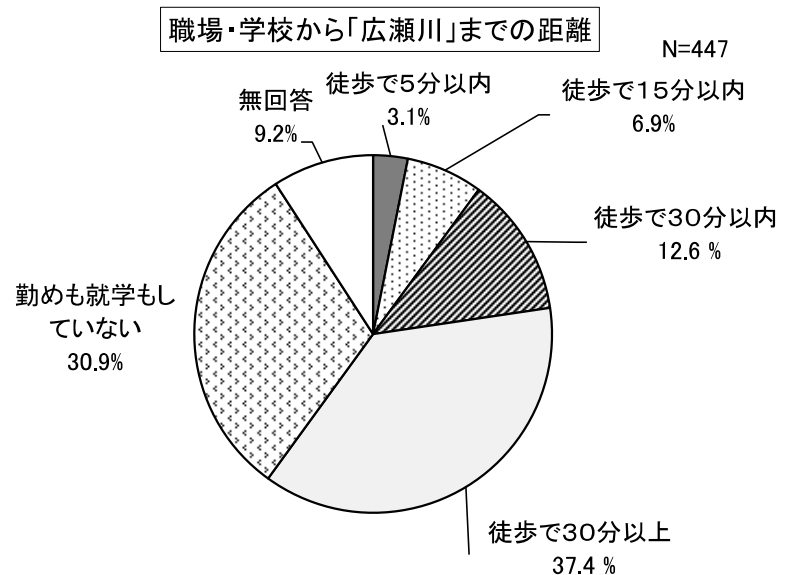
5 住まいから「広瀬川」までの距離

・徒歩で5分以内	46人
・徒歩で15分以内	78人
・徒歩で30分以内	69人
・徒歩で30分以上	187人
・わからない	64人
・無回答	3人



6 職場・学校から「広瀬川」までの距離

・徒歩で5分以内	14人
・徒歩で15分以内	31人
・徒歩で30分以内	56人
・徒歩で30分以上	167人
・勤めも就学もしていない	138人
・無回答	41人



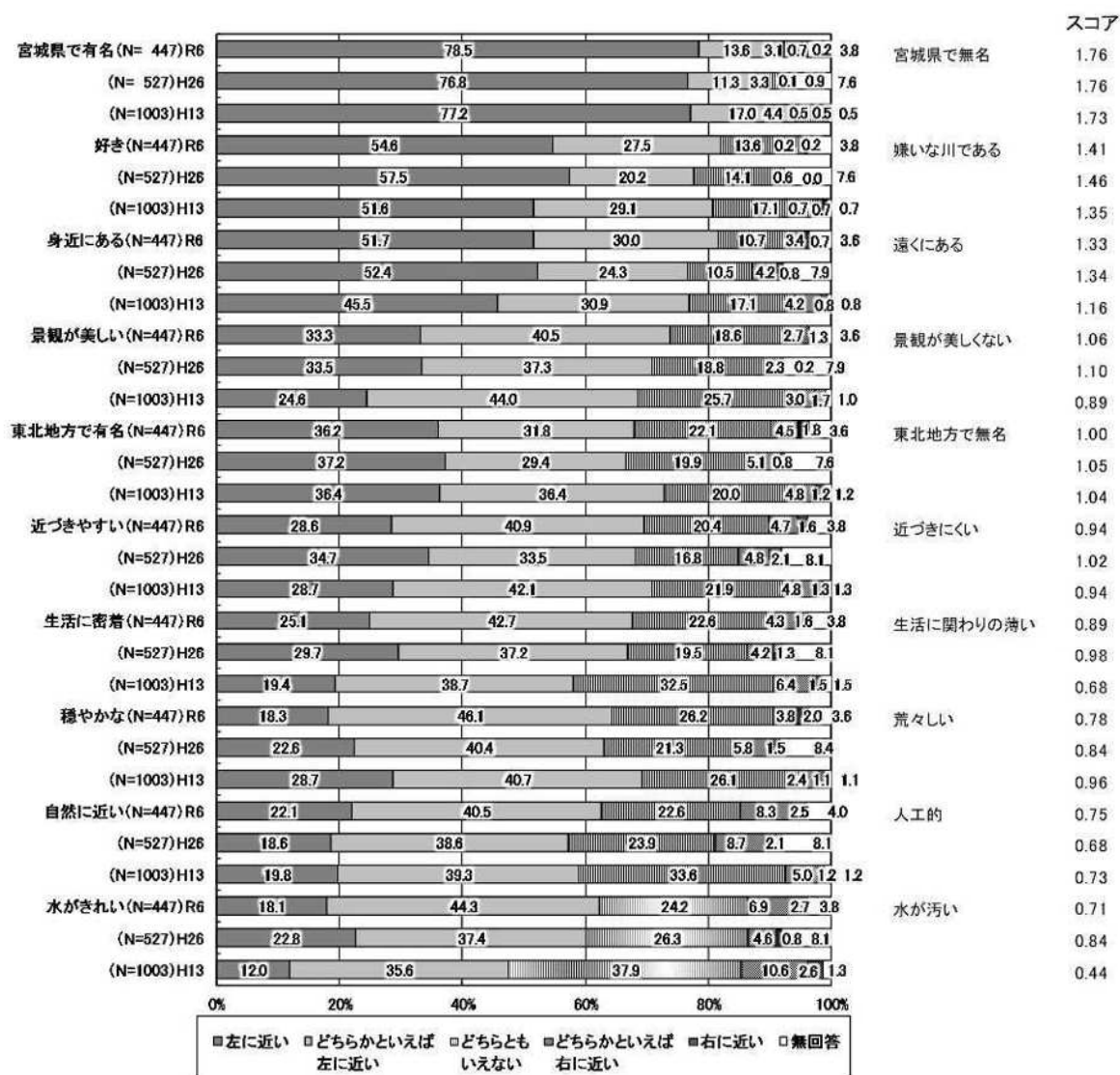
Ⅲ 集計結果

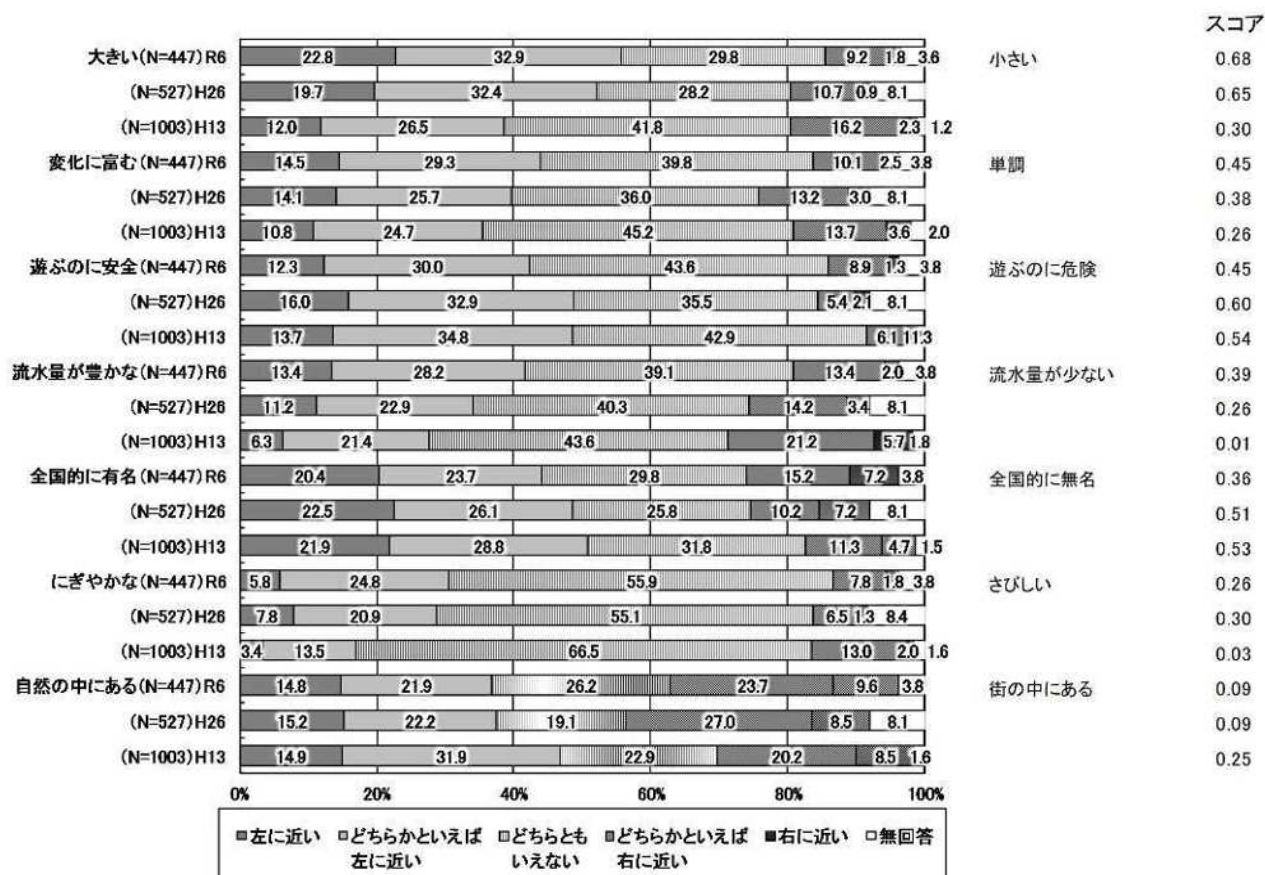
1 広瀬川のイメージ等について

(1)「広瀬川」に対するイメージ

広瀬川に対する市民の持つイメージを把握するために、「好きな川である」と「嫌いな川である」のように対になったものから、広瀬川のイメージがどちらに強いかを質問した。回答者全体では「宮城県で有名」「好き」「身近にある」などのイメージが強い。

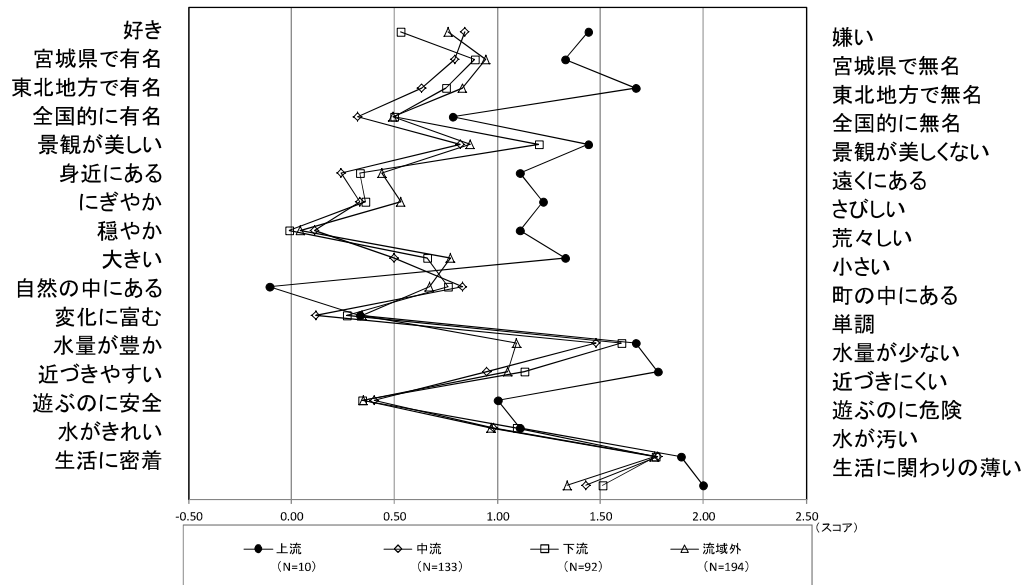
<問1 広瀬川に対するイメージ(全体・経年比較)>





※グラフ中のスコアとは、各項目において、「左に近い」を2点、「どちらかといえば左に近い」を1点、「どちらとも言えない」を0点、「どちらかといえば右に近い」を-1点、「右に近い」を-2点と換算し、その平均点を示している。平均を算出する際の分母には、無回答は含まない。項目はスコアの降順に並び替えている。

<問1 広瀬川に対するイメージ(流域別)>

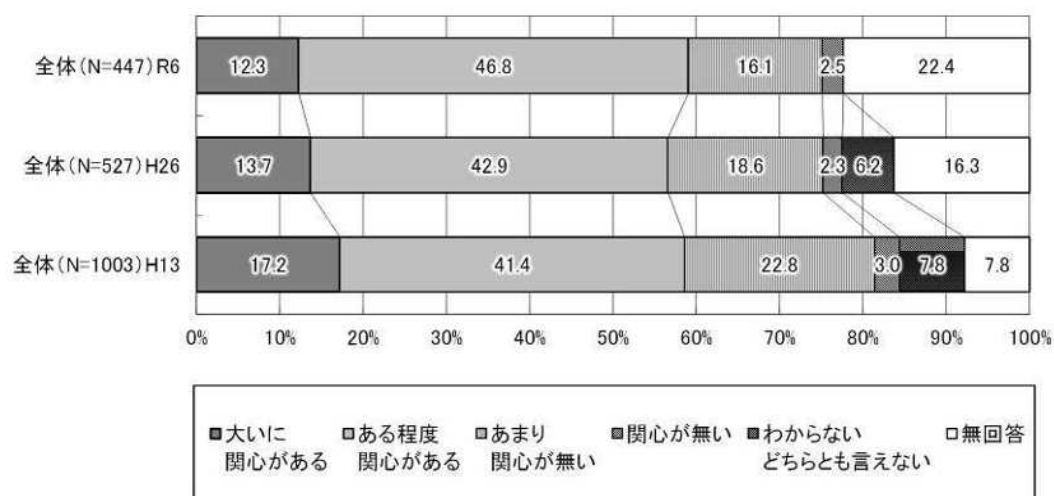


(2)「広瀬川」への関心の程度

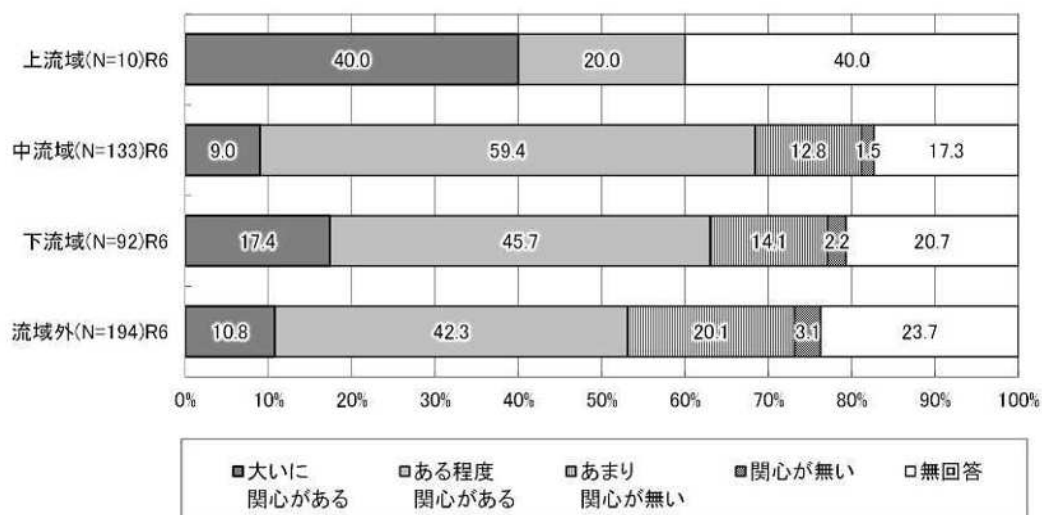
①「広瀬川」への関心度

「広瀬川」への程度関心をもっているかを質問した。回答者全体では、「ある程度関心がある」が46.8%、「大いに関心がある」が12.3%であり、全体の半数以上の人が広瀬川に関心をもっていることがわかる。

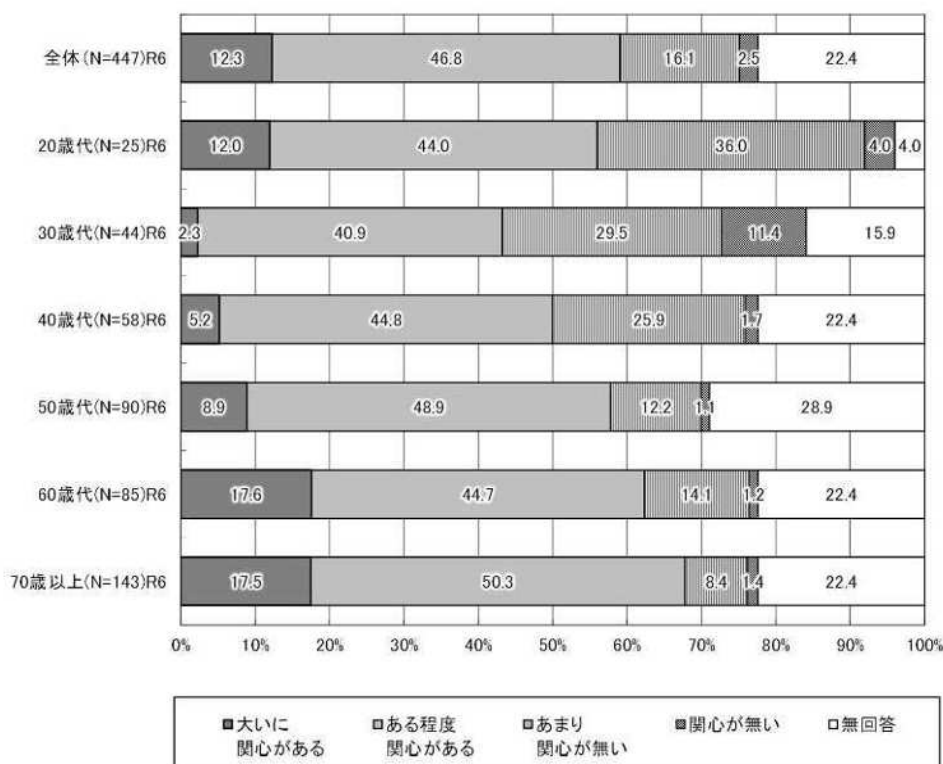
<問2 広瀬川への関心度(全体・経年比較)>



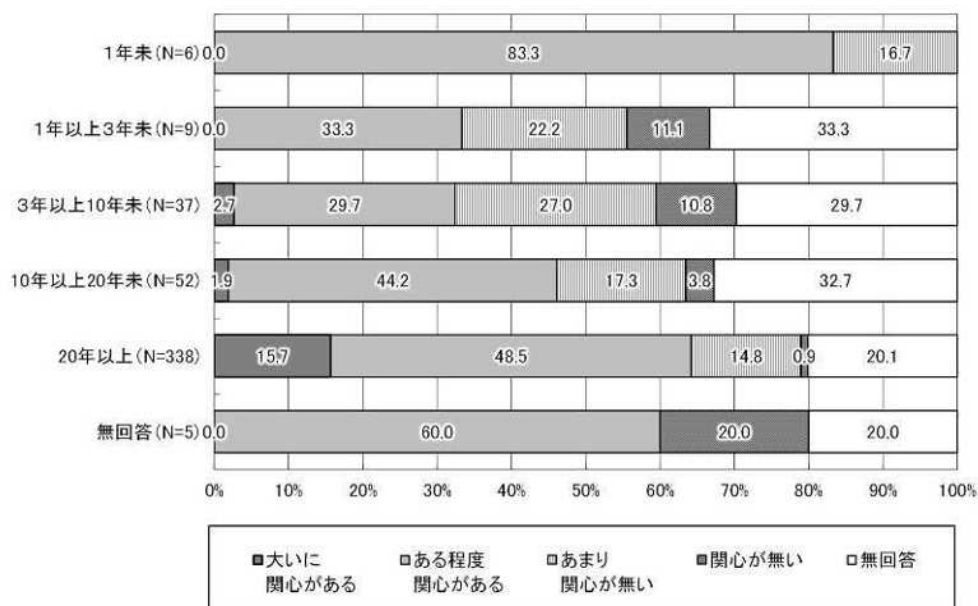
<問2 広瀬川への関心度(流域別)>



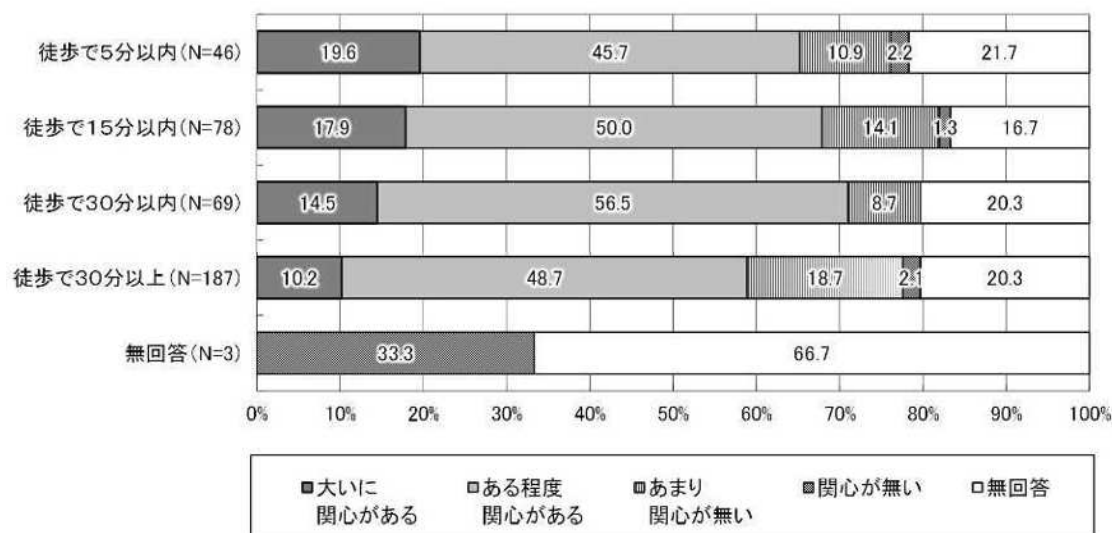
<問2 広瀬川への関心度(年齢別)>



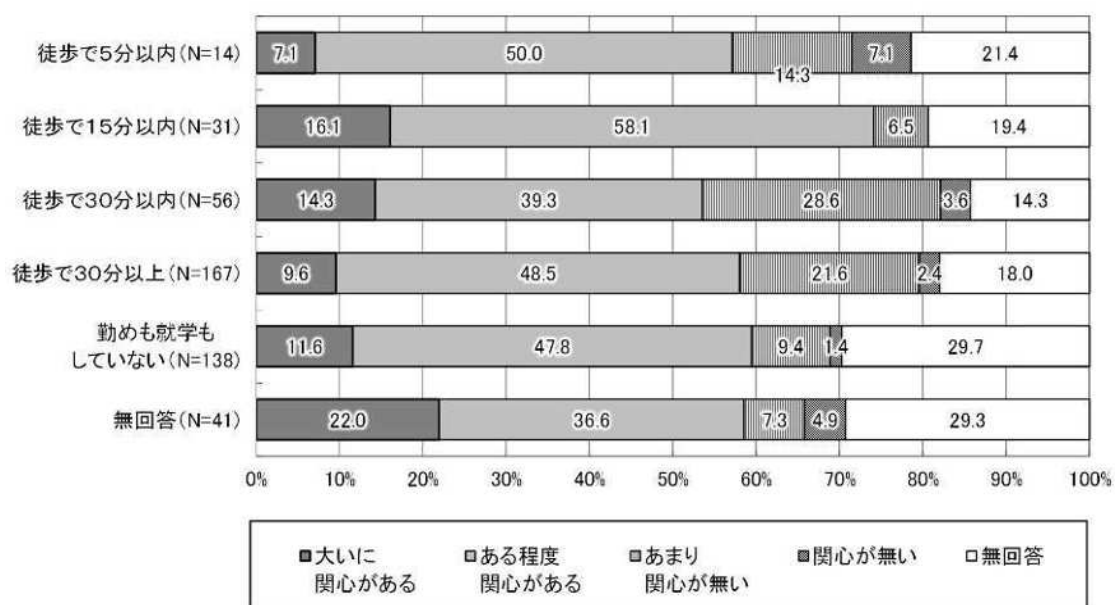
<問2 広瀬川への関心度(仙台在住年数別)>



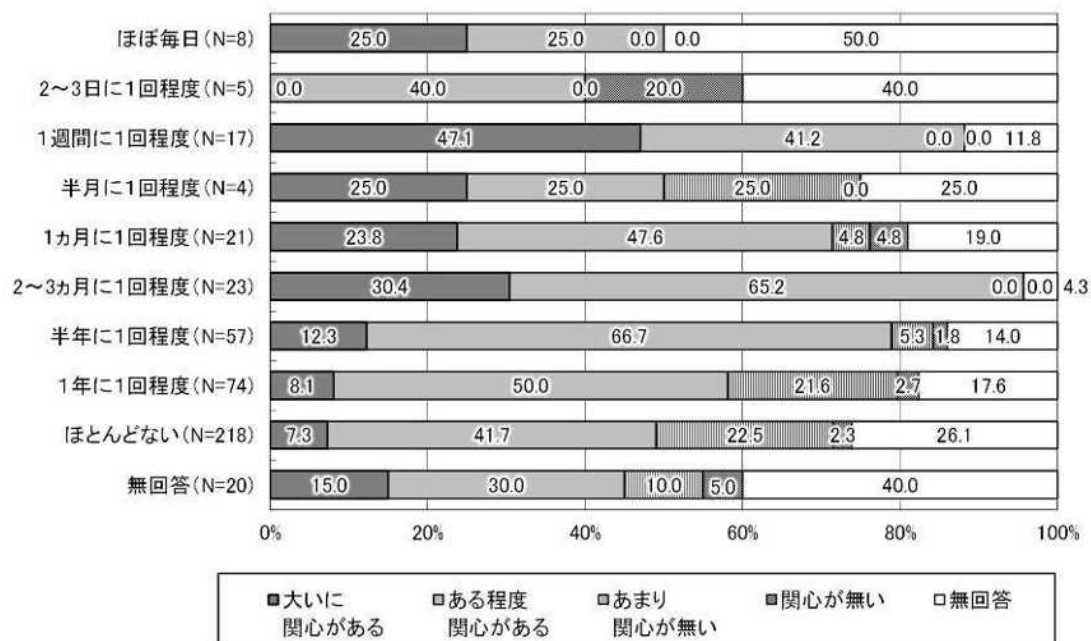
<問2 広瀬川への関心度(住まいから「広瀬川」までの時間別)>



<問2 広瀬川への関心度(学校・職場から「広瀬川」までの時間別)>



<問2 広瀬川への関心度(広瀬川の水辺を訪れる回数別)>

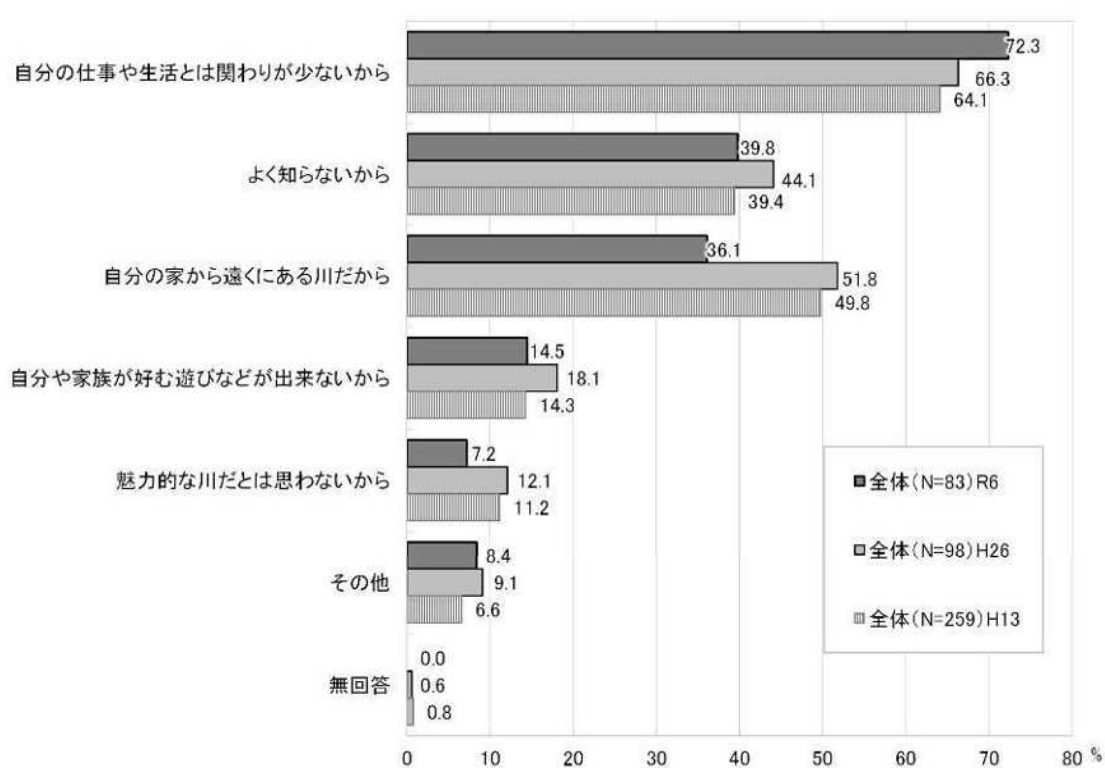


②「広瀬川」に関心がない理由

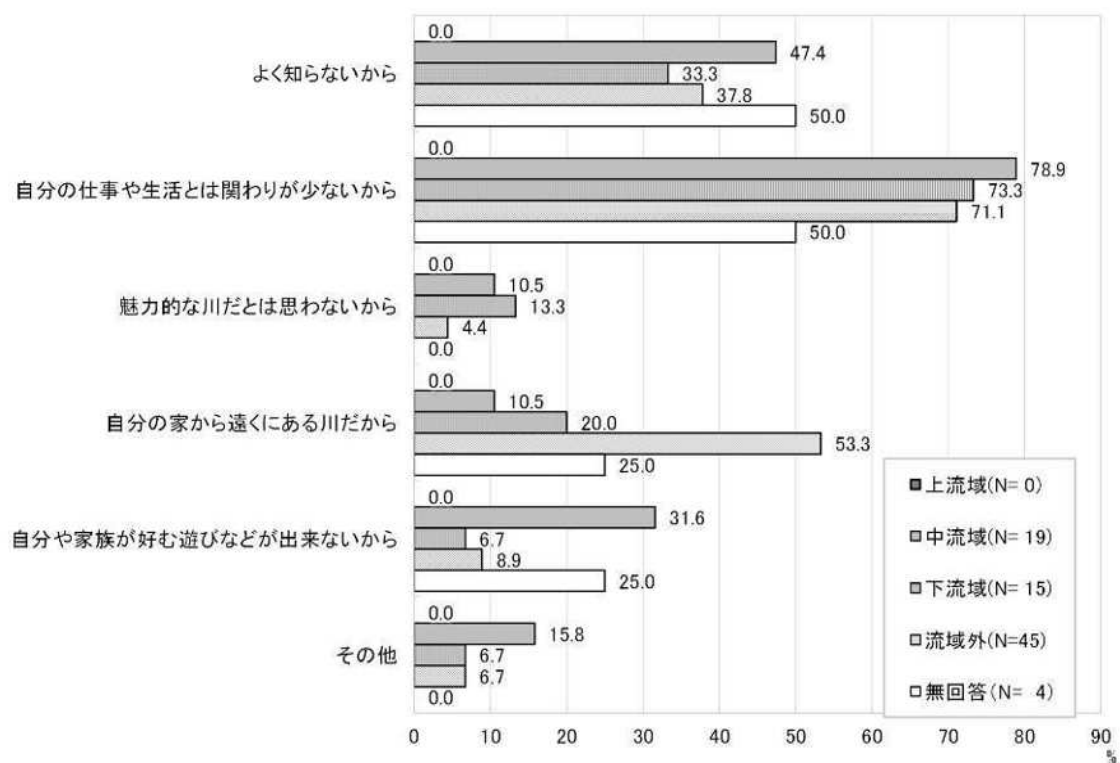
広瀬川への関心の程度について「あまり関心がない」「関心がない」と選択した回答者にその理由をたずねた。

「自分の仕事や生活とは関わりが少ないから」が72.3%と最も多く、次いで「よく知らないから」が39.8%となっている。

＜問2付問「広瀬川」に関心がない理由(全体・経年比較)＞



<問2付問「広瀬川」に関心がない理由(流域別)>

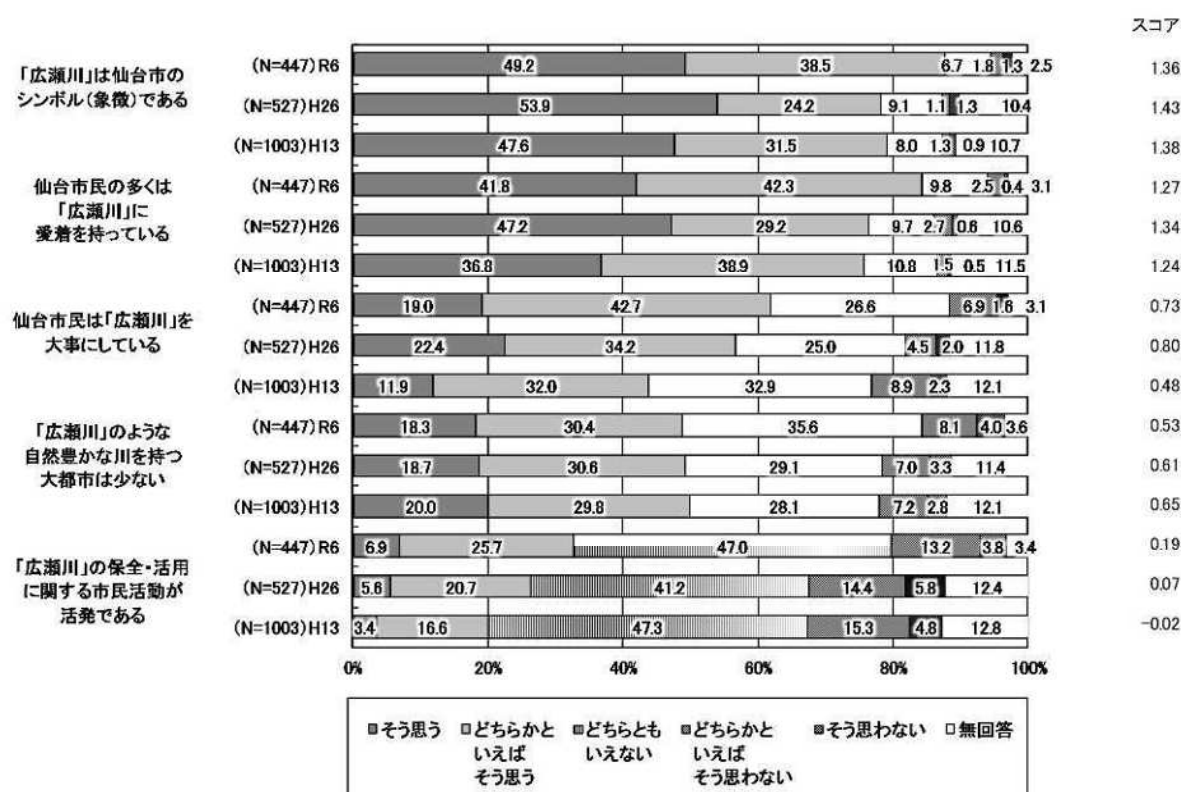


(3)「広瀬川」についての基本認識

広瀬川について5つの考え方（基本認識）を提示した上で、その考え方に対してどう思うかをたずねた。

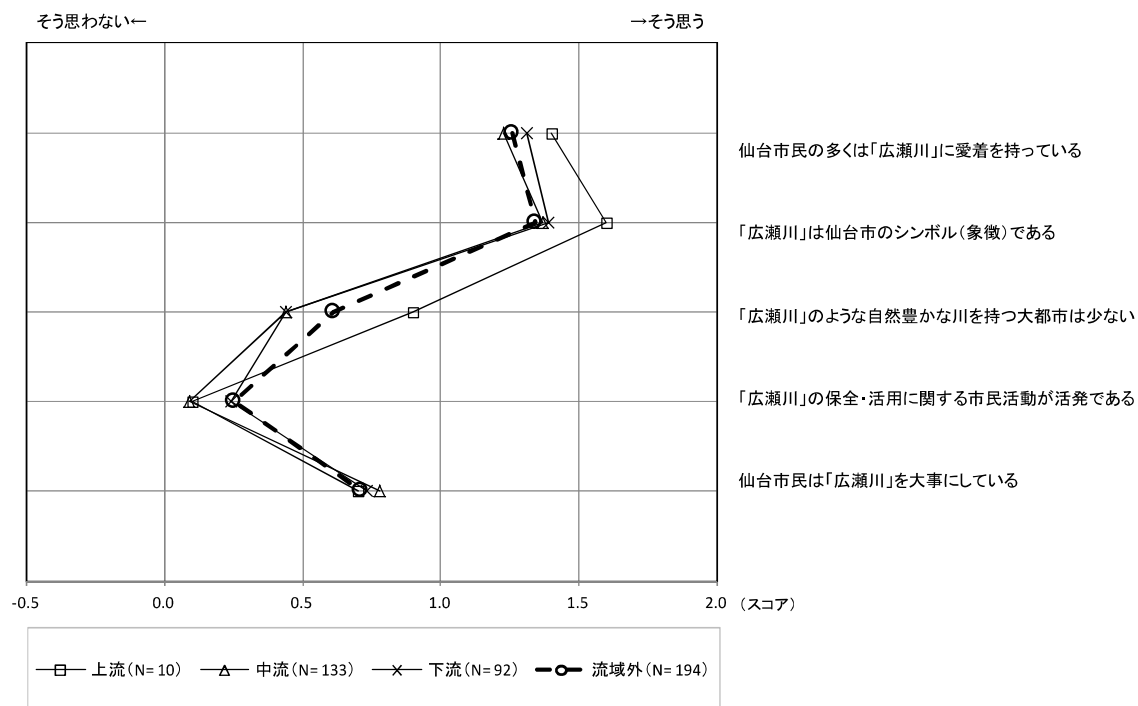
市民の多くが「広瀬川は仙台市のシンボル（象徴）である」「仙台市民の多くは「広瀬川」に愛着を持っている」という考えを持っていることがわかる。

<問3「広瀬川」についての考え(全体・経年比較)>



※グラフ中のスコアとは、各項目において、「そう思う」を2点、「どちらかといえばそう思う」を1点、「どちらとも言えない」を0点、「どちらかといえばそう思わない」を-1点、「そう思わない」を-2点と換算し、その平均点を示している。項目はスコアの降順に並び替えている。

＜問3 「広瀬川」についての考え(流域別)＞

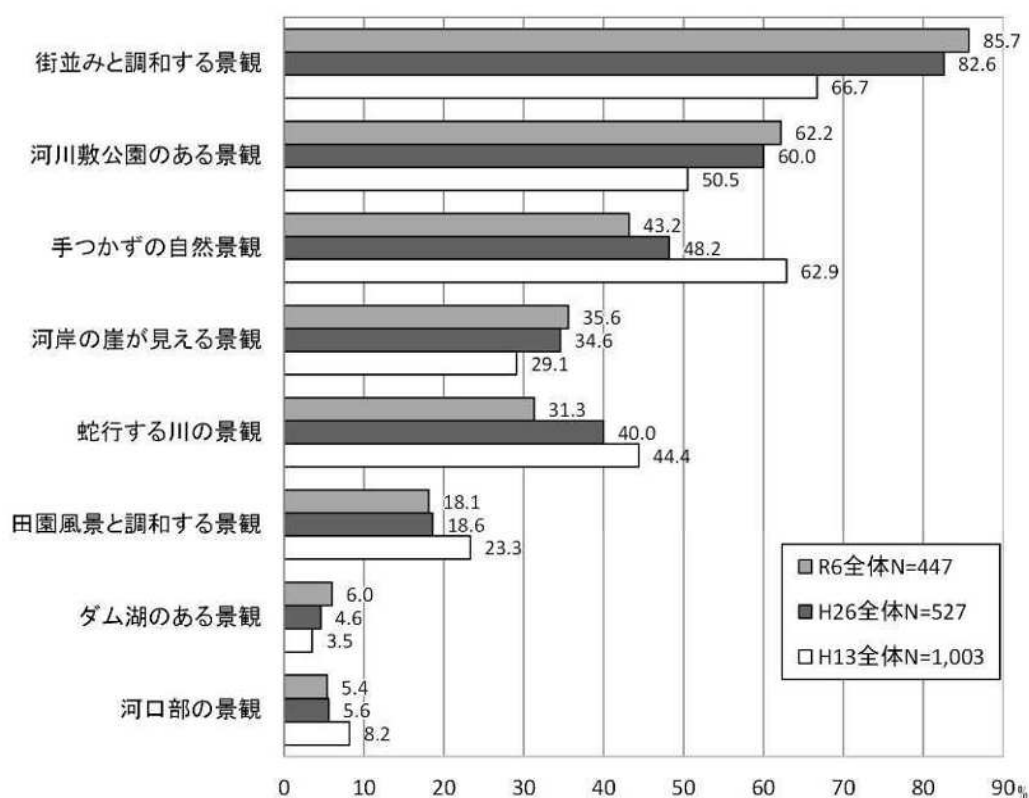


2 仙台市民が想う広瀬川の将来像

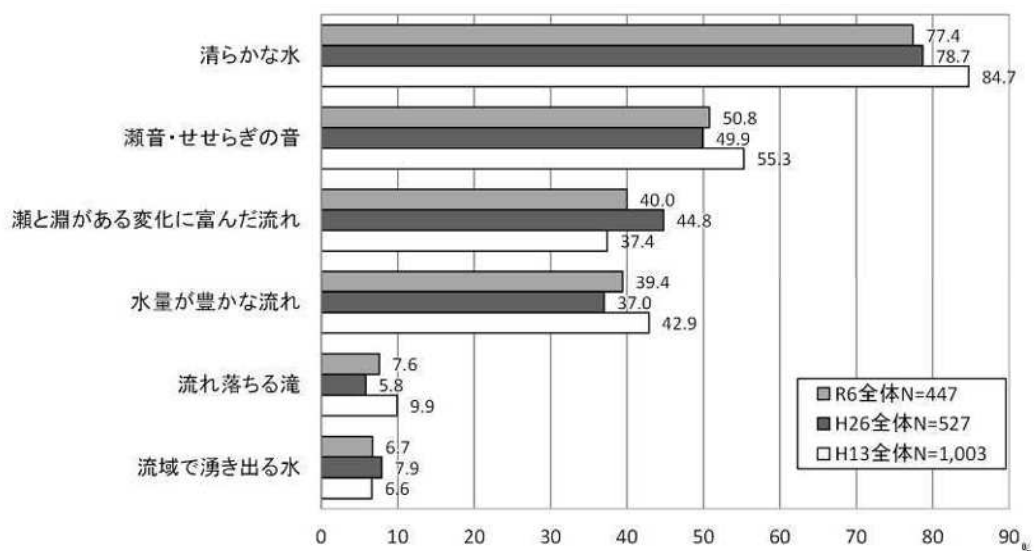
(1) 引き継ぎたいと思う「広瀬川」の良さ

市民が広瀬川のどのような良さを守り、次代に引き継いでいきたいと思っているかを把握するために、「広瀬川の景観」「広瀬川の水・流れ」「広瀬川に生息・生育する動植物」「広瀬川に関わる文化・伝統」「広瀬川に関わる建造物等」の5つの分野について、それぞれ代表的なものを選び質問した。5分野全体でみると、「街並みと調和する景観」が85.7%と最も高い。

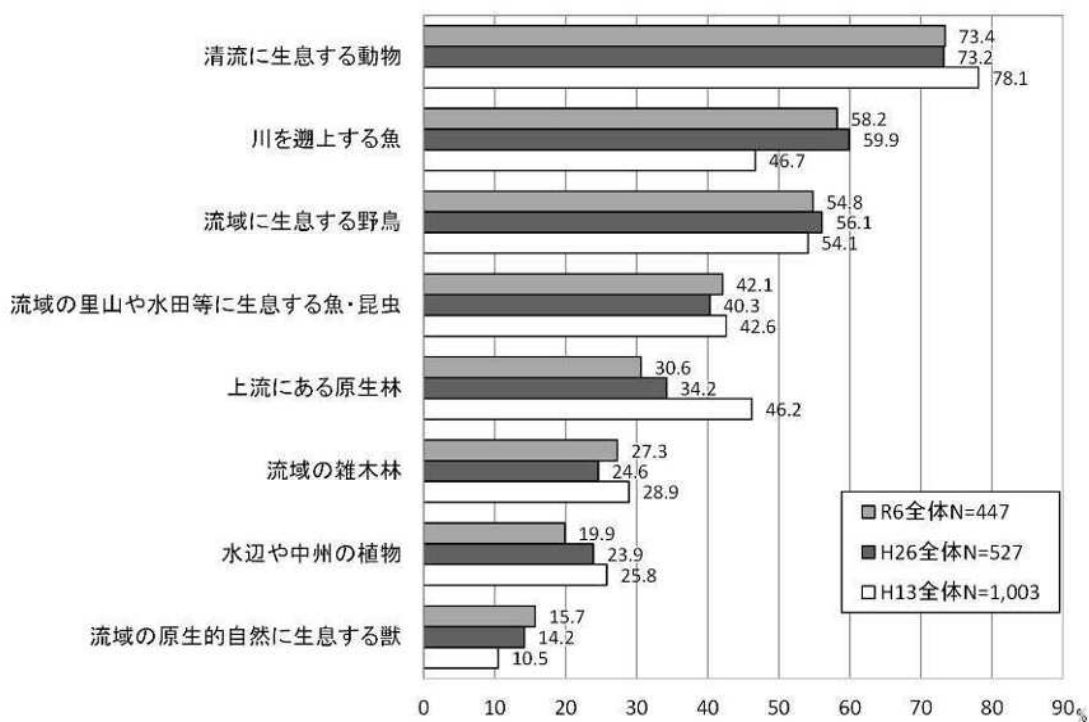
<問4 引き継ぎたいと思う「広瀬川」の良さ【広瀬川の景観】（全体・経年比較）>



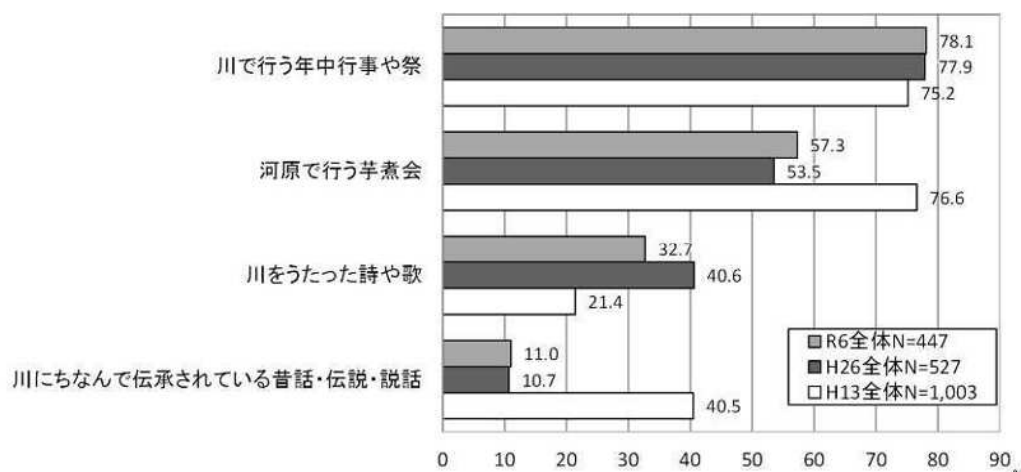
<問4 引き継ぎたいと思う「広瀬川」の良さ【広瀬川の水・流れ】（全体・経年比較）>



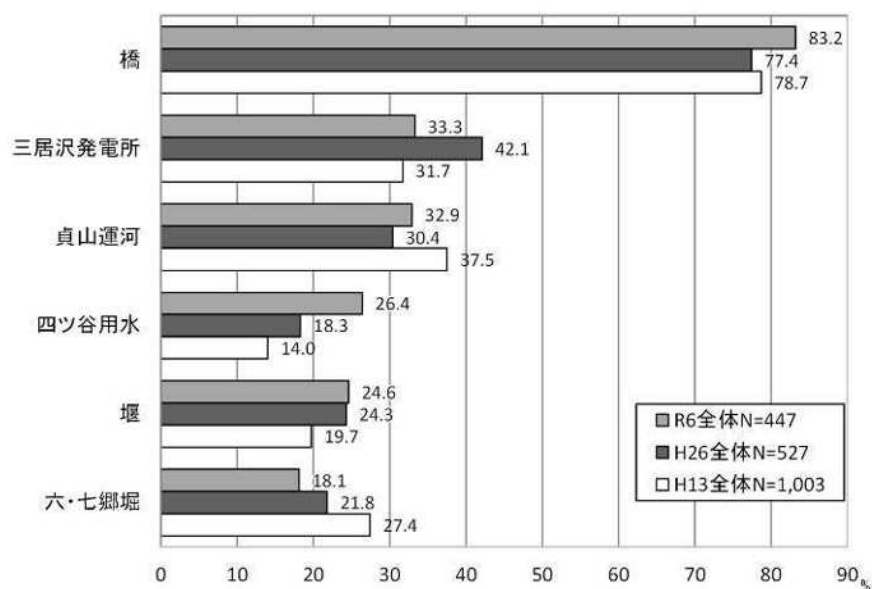
<問4 引き継ぎたいと思う「広瀬川」の良さ【広瀬川に生息・生育する動植物】（全体・経年比較）>



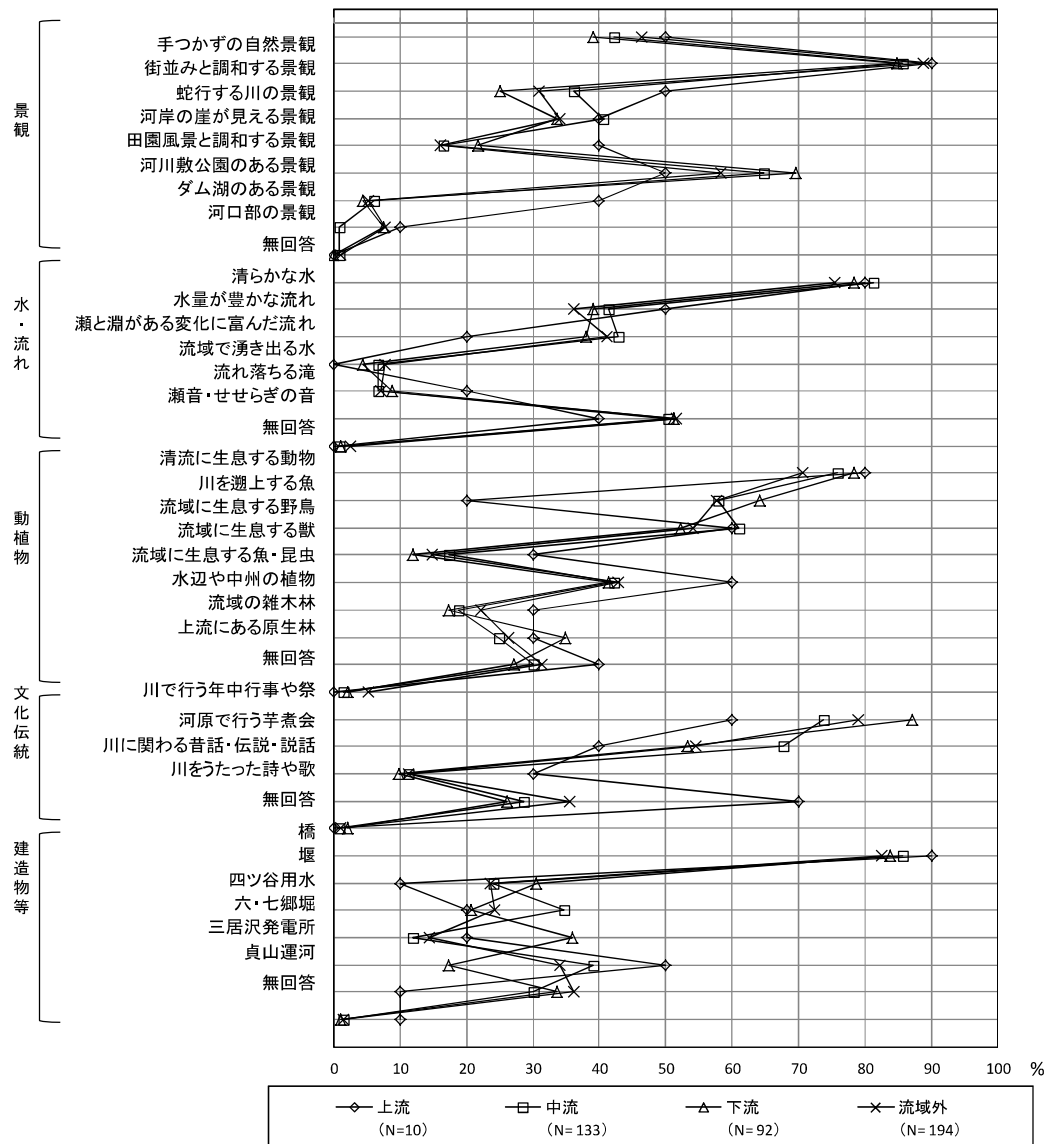
＜問4 引き継ぎたいと思う「広瀬川」の良さ【広瀬川に関わる文化・伝統】（全体・経年比較）＞



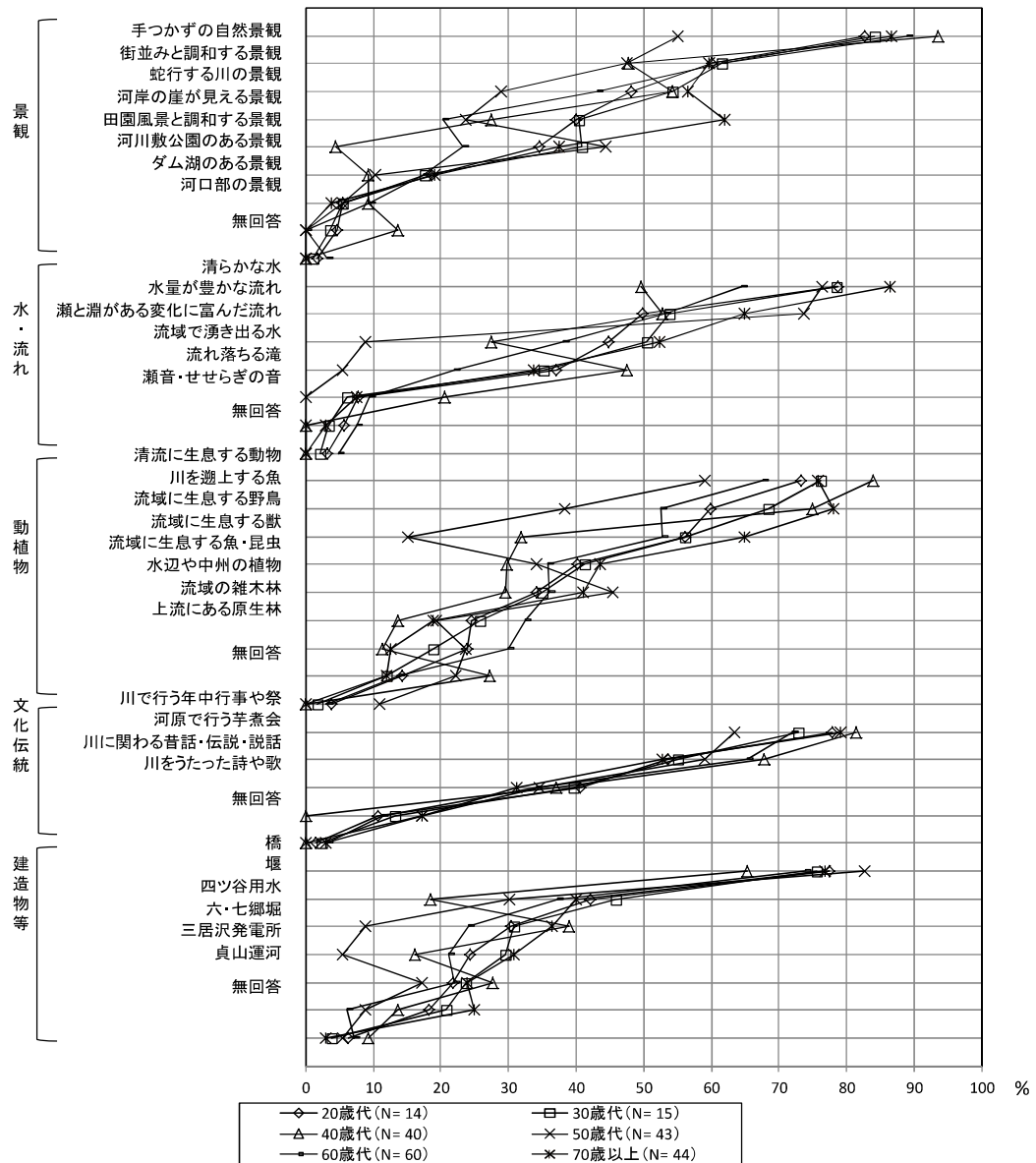
＜問4 引き継ぎたいと思う「広瀬川」の良さ【広瀬川に関わる建造物】（全体・経年比較）＞



＜問4 引き継ぎたいと思う「広瀬川」の良さ(流域別)＞



<問4 引き継ぎたいと思う「広瀬川」の良さ(年齢別)>



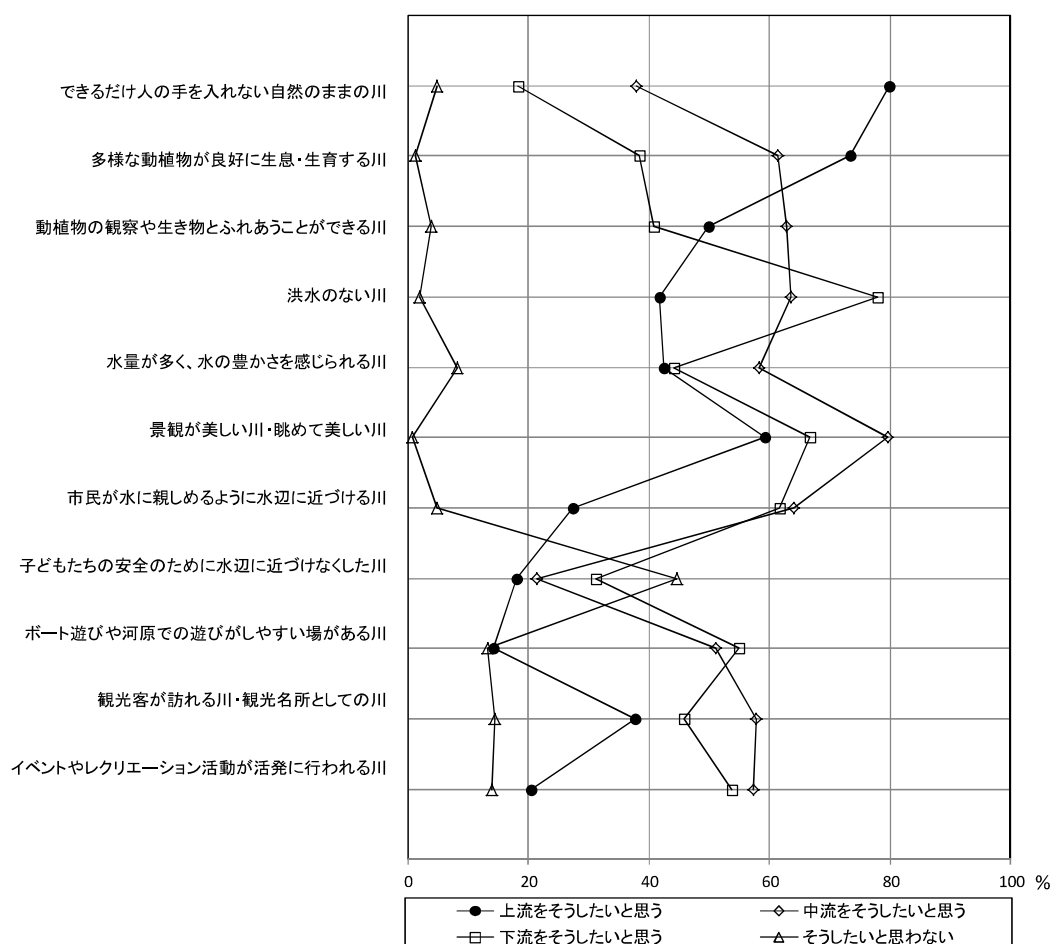
(2) 広瀬川の将来像

市民が将来、広瀬川をどのような川にしたいかを把握するために、11の将来像を提示して、それぞれについて、「上流をそうしたいと思う」「中流をそうしたいと思う」「下流をそうしたいと思う」「そうしたいと思わない」の4つについて質問した。

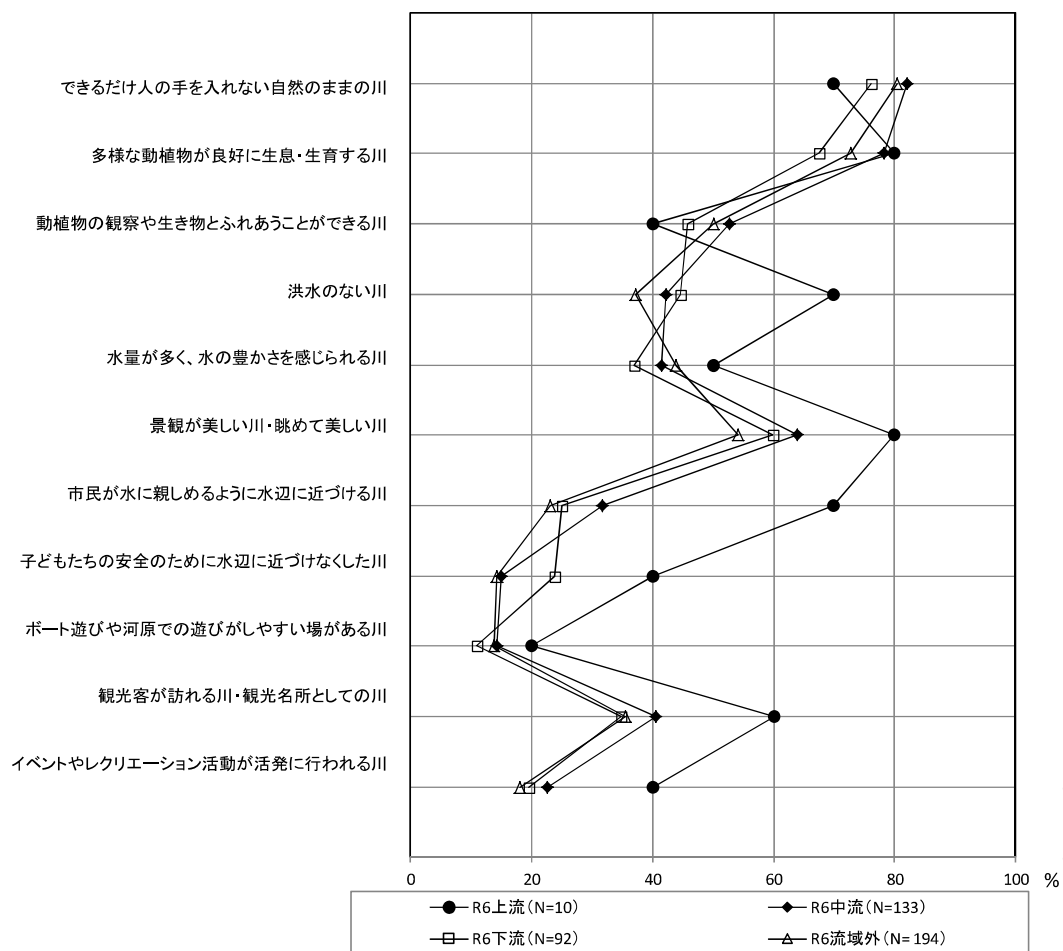
11の将来像全体でみると、上流では「できるだけ人の手を入れない自然のままの川」「多様な動植物が良好に生息・生育する川」が高くなっている。

これに対して、中下流では「景観が美しい川・眺めて美しい川」「洪水のない川」などが高くなっており、市民が上流と中下流に抱く将来像に違いがあることがわかる。

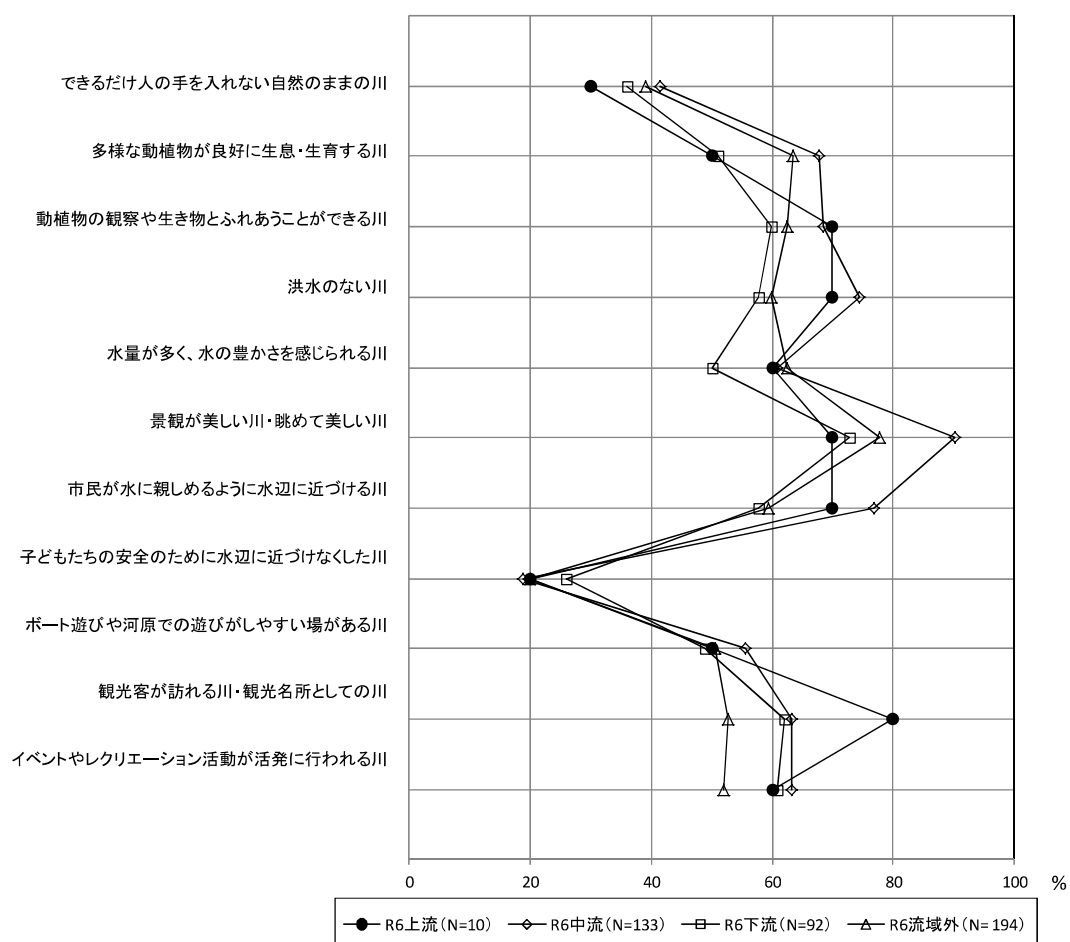
<問5 広瀬川の将来像(全体)>



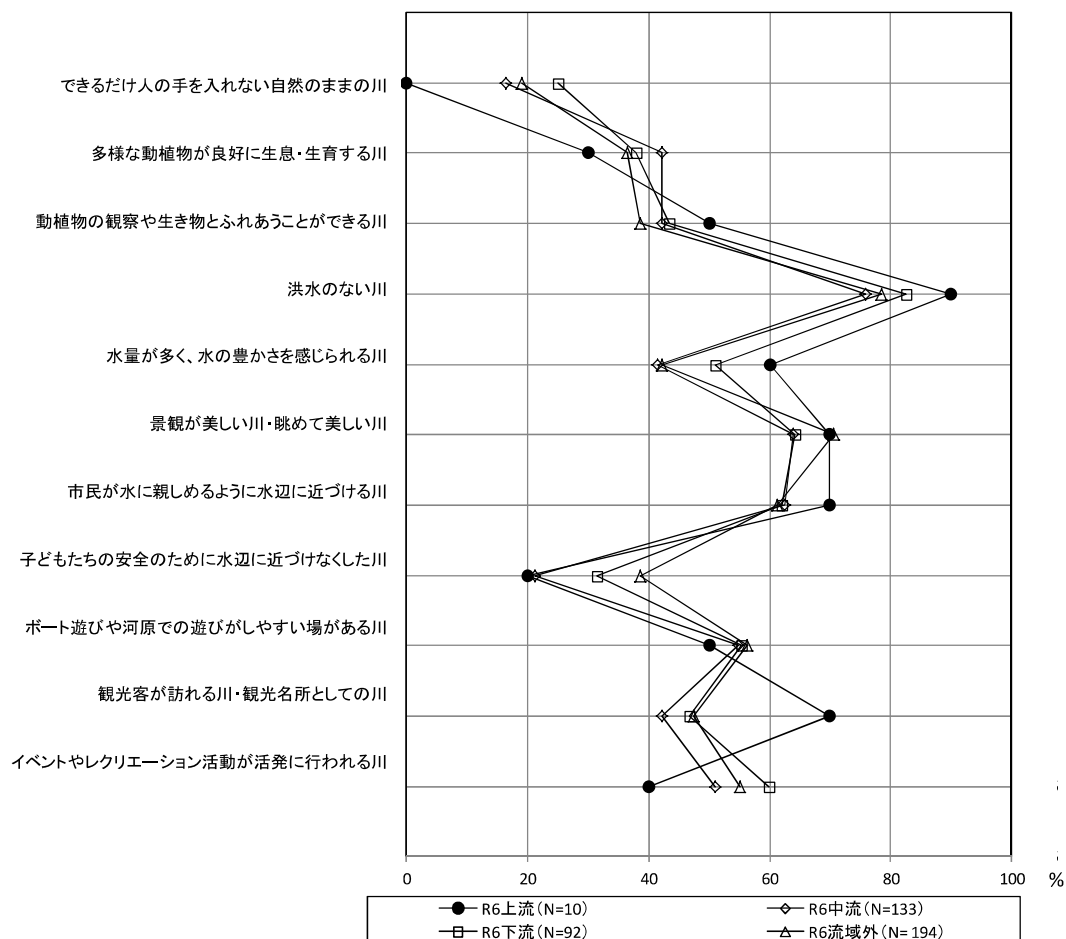
<問5 上流に対する将来像(流域別)>



＜問5 中流に対する将来像(流域別)＞



＜問5 下流に対する将来像(流域別)＞



(3) 広瀬川の将来像に関する自由意見

広瀬川の将来像に関する自由意見を取りまとめたところ、以下のようになった。

<問6 広瀬川の将来像に関する自由意見>

分類項目	件数
1 自然環境の保護	24
2 河川周辺の整備	40
3 イベント開催など、河川の活用	10
4 防災	7
5 その他	12
6 特になし	13
計	106

以下に主な意見を抜粋する。

1 自然環境の保護について

- 広瀬川の自然を後世に残せるよう願います。【70 歳以上 中流】
- いつまでも美しい広瀬川でありますようにお祈りいたします。【50 歳代 流域外】
- 街中にある、自然がいっぱいの川にしたい。【70 歳以上 下流】
- 広瀬川のイメージは、上流域の自然豊かな景観と、中流域の街並との調和です。具体的な将来像はありませんが、将来もそういったイメージのまま残るといいなと思います。【40 歳代 下流】
- 多様な動植物や生き物が安心して生息できる場所があってほしいです。景観と眺めが美しいのもいいですが、大切な命が水遊びの事故によって失われることのないように安全な川であってほしいです。【50 歳代 流域外】

2 河川周辺の整備について

- 仙台を流れる、この広瀬川を見ながら家族で仙台芋煮が出来る様河川公園を作って頂けたら幸せです。【60 歳代 下流】
- 河原で遊べる場所が少ない。親水公園を整備されると良い。【70 歳以上 中流】
- 子どもを連れて安全に遊べるエリアなどをつくり、もっと身近に子どもたちにとって川を感じてもらえるようにする。将来、今の子どもたちがよく思い出するような場所となるような工夫。【30 歳代 流域外】
- 瑞鳳殿や仙台城跡を訪れると自然に広瀬川が目に入るように、わざわざイベントなどで人を呼びこまなくてもいつもの姿を見てもらえるような感じがすてきかと思います。又は嵐山の渡月橋のような渡りたくなるような橋の存在もいいかも。【50 歳代 流域外】
- 中流（仙台市内）でも小さな子供も安全に安心して水遊びが出来る様に広瀬川の水流を利用した整備された河川敷公園広場やふん水広場、木かげで休けいできる様な公園・広場を作ってくれたら絶対に利用すると思う。【40 歳代 流域外】

3 イベント開催など、河川の活用について

- 広瀬川周辺でもっと盛んにイベントが開かれてほしい。【20 歳代 流域外】
- 学校教育の中で、身近な広瀬川や自然について学ぶ機会があると、より市民にとって身近で、市民自身の手で守り・育みたいと思えるようになるとよい。【30 歳代 流域外】

4 防災について

- 過去とは比較にならない程の降水量を観測することも増えてきたと思うので、洪水対策はしっかりとした方が良いと思う。【50 歳代 中流】
- 川の周りの木々があまりにも生い茂っていて、洪水の際はその木々で第2、第3の危険が生じるのではないかと不安になる。【50 歳代 上流】

5 その他について

- 市民、県民に幼い頃から親しむ事により、より愛される川になってほしい。【40 歳代 中流】

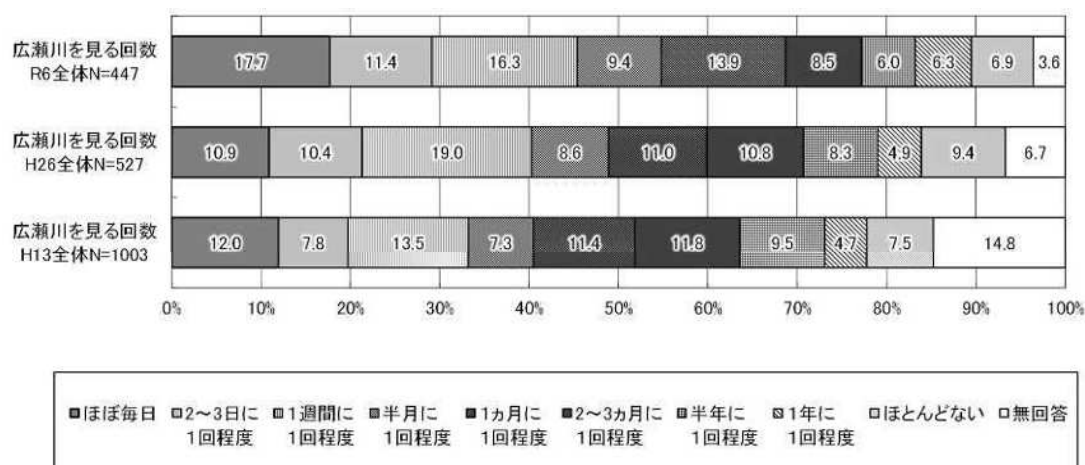
3 「広瀬川」へのアクセス頻度

市民が広瀬川へ実際にどの程度アクセスしているかを把握するために、「広瀬川を見る回数」「広瀬川の水辺を訪れる回数」の2つの質問をした。

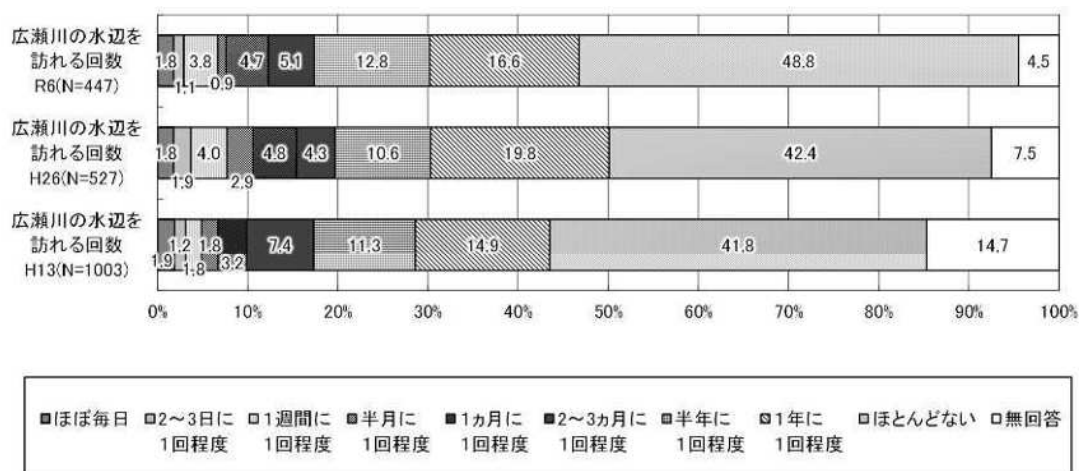
広瀬川を見る回数についての回答は、「ほぼ毎日」から「ほとんどない」まで幅広く分布している。回答選択肢を数値に置き換えて集計してみると（例えば、「ほぼ毎日」であれば年間 365 回、「半月に 1 回程度」であれば年間 24 回。）、市民一人が広瀬川を見る回数は年 94.8 回、つまり 4 日に 1 回程度となる。経年比較でみてもほぼ同様の結果となっている。

広瀬川の水辺を訪れる回数については、「ほとんどない」と回答している人が 48.8%と最も多く、次いで「1 年に 1 回程度」が 16.6%となっている。見る頻度と同様に、回答選択肢を数値に置き換えて集計してみると、広瀬川の水辺を訪れる回数は 30 日に 1 回程度となる。

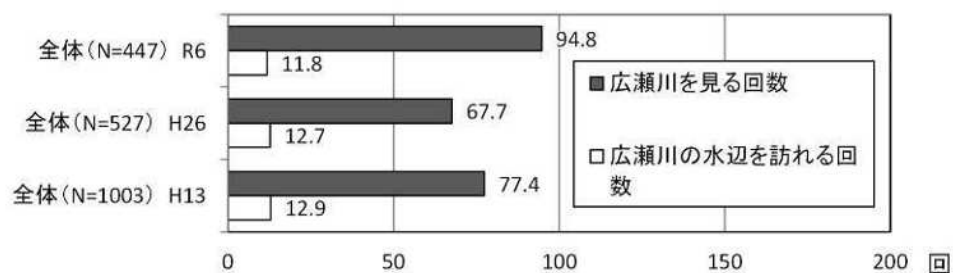
<問7 広瀬川を見る回数(全体・経年比較)>



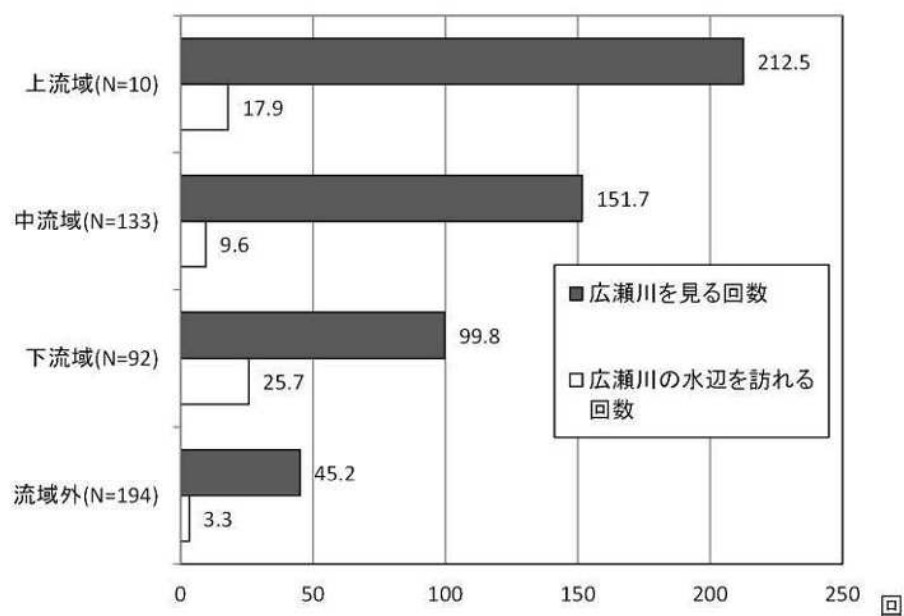
<問7 広瀬川の水辺を訪れる回数(全体・経年比較)>



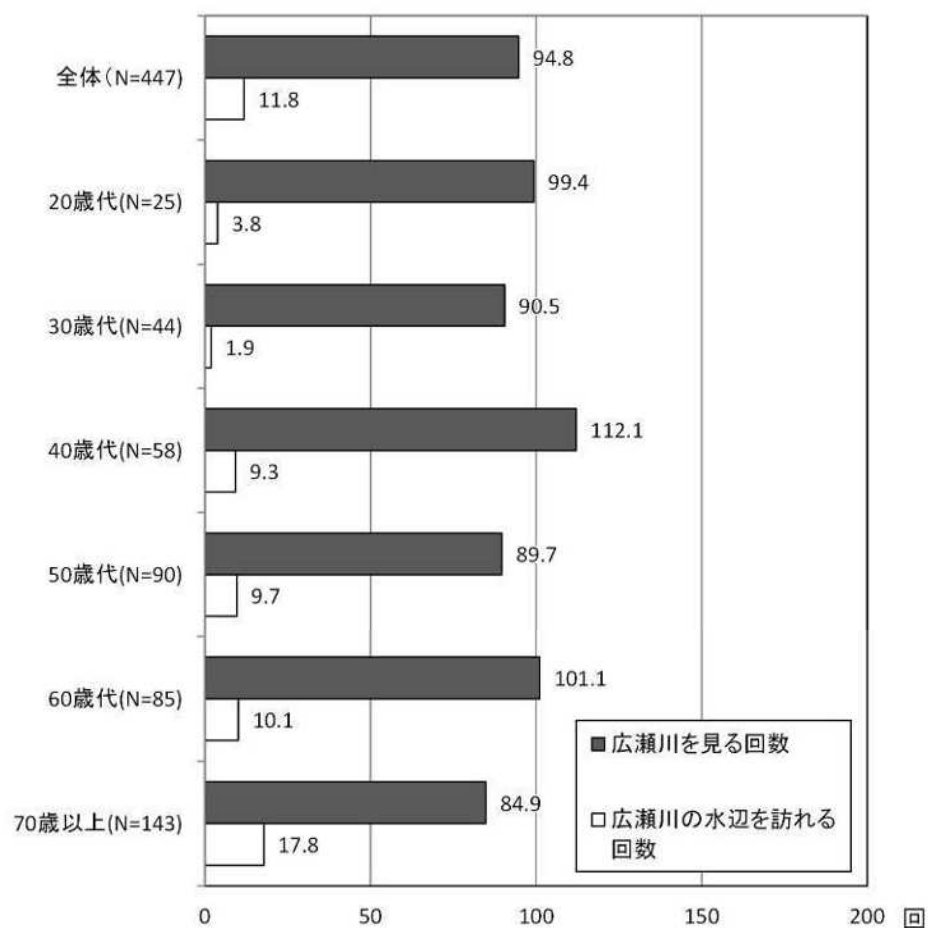
＜問7 1年あたりの広瀬川へのアクセス頻度(全体・経年比較)＞



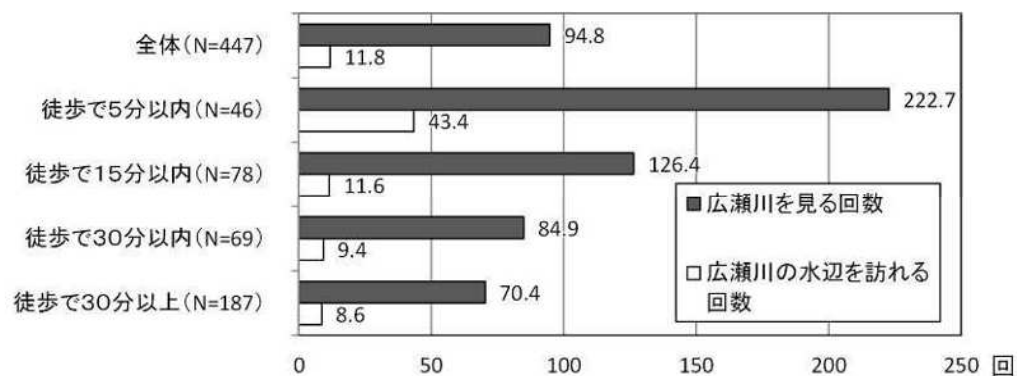
＜問7 1年あたりの広瀬川へのアクセス頻度(流域別)＞



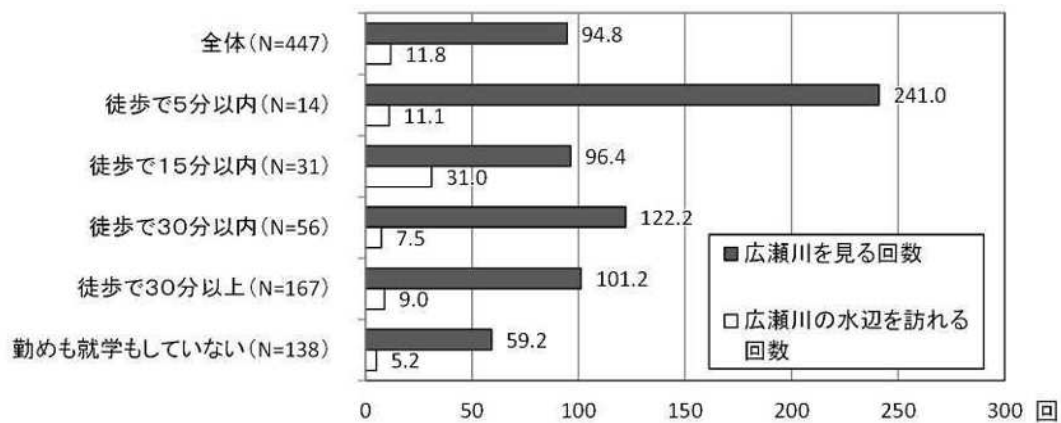
<問7 1年あたりの広瀬川へのアクセス頻度(年齢別)>



<問7 1年あたりの広瀬川へのアクセス頻度(住まいから広瀬川までの時間別)>



<問7 1年あたりの広瀬川へのアクセス頻度(職場・学校から広瀬川までの時間別)>

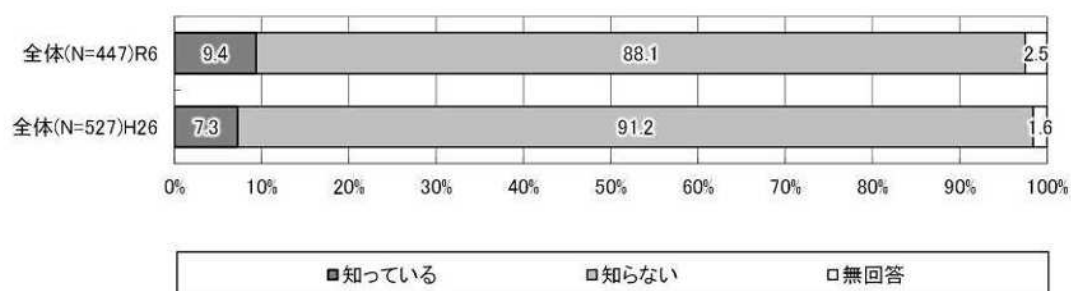


4 「広瀬川」に関わる活動の状況について

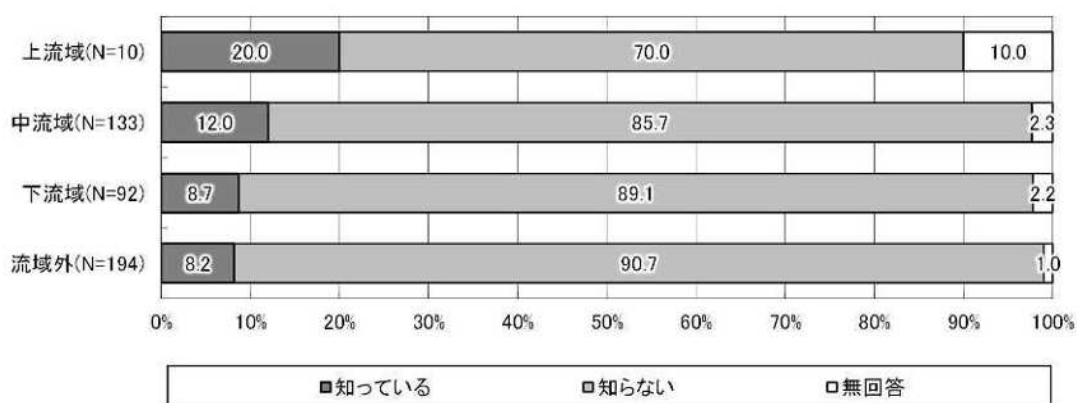
(1) 「広瀬川創生プラン」の認知状況

市民に「広瀬川創生プラン」の認知状況を質問したところ、「知っている」が9.4%であった。

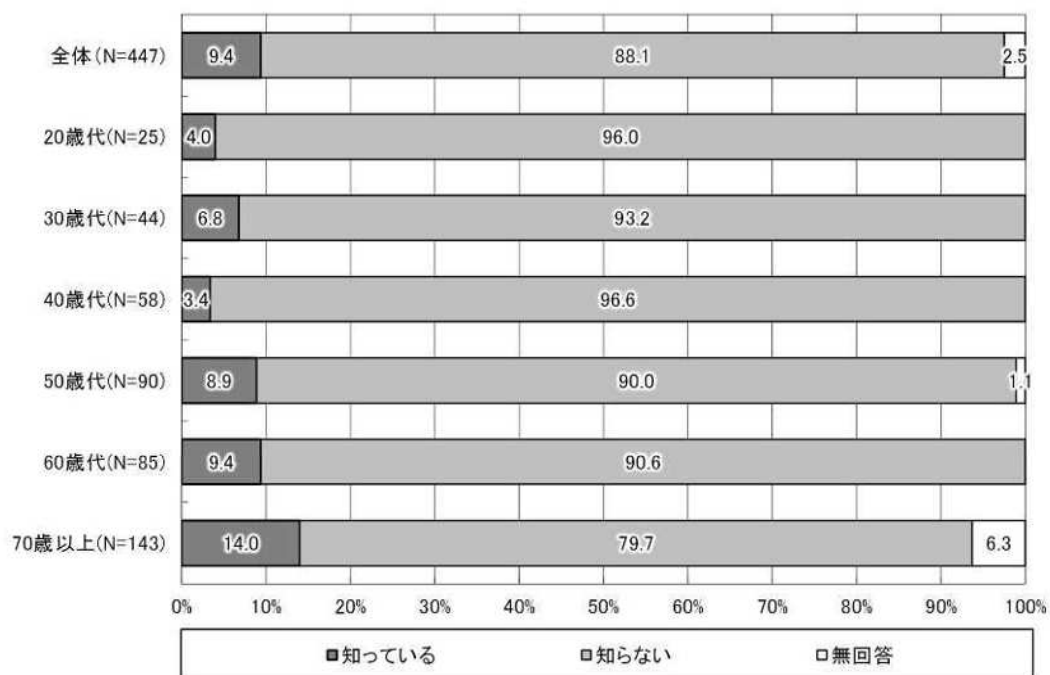
<問8「広瀬川創生プラン」の認知状況(全体)>



<問8「広瀬川創生プラン」の認知状況(流域別)>



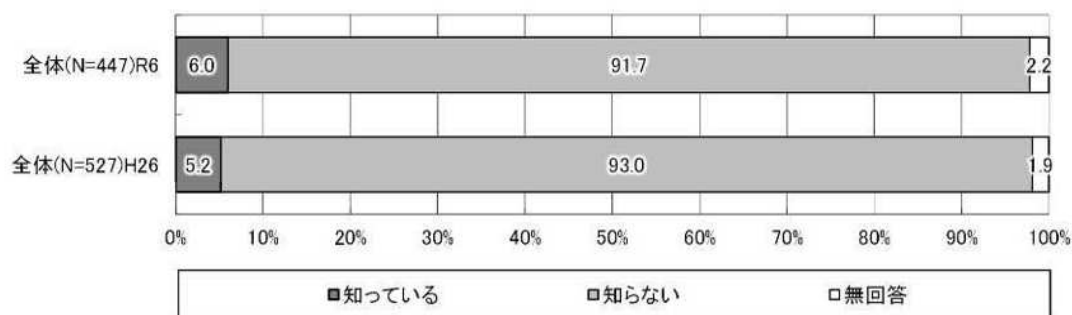
<問8「広瀬川創生プラン」の認知状況(年齢別)>



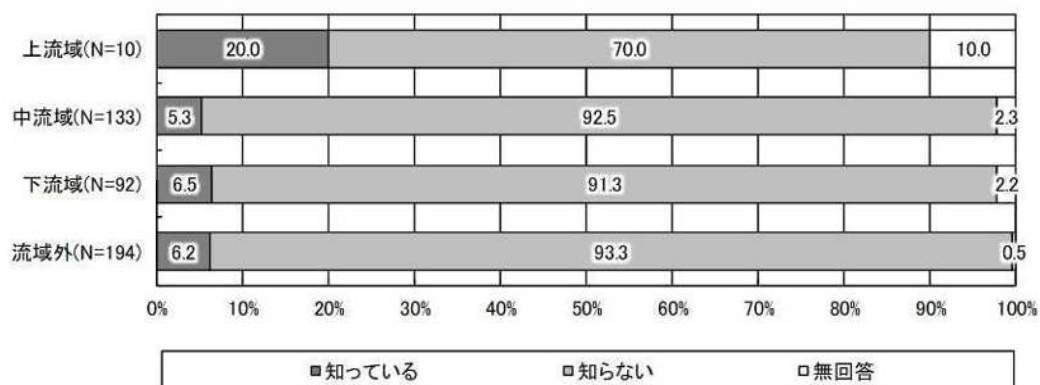
(2)「広瀬川市民会議」の認知状況

市民に「広瀬川市民会議」の認知状況を質問したところ、「知っている」が6.0%であった。

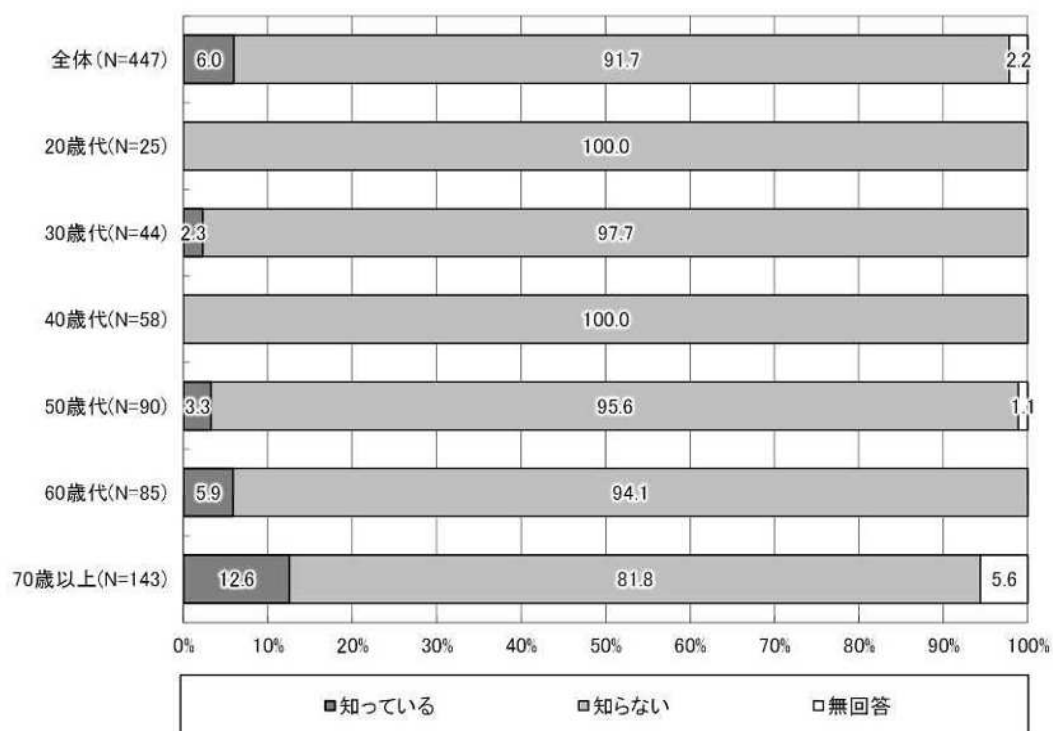
<問8「広瀬川市民会議」の認知状況(全体)>



<問8「広瀬川市民会議」の認知状況(流域別)>



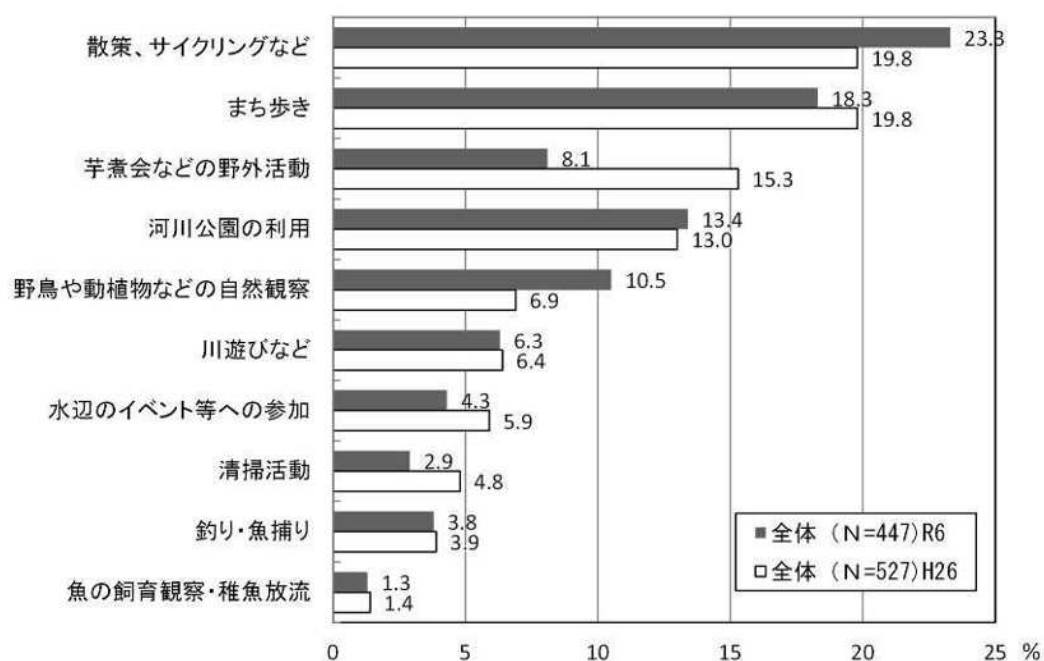
＜問8 「広瀬川市民会議」の認知状況(年齢別)＞



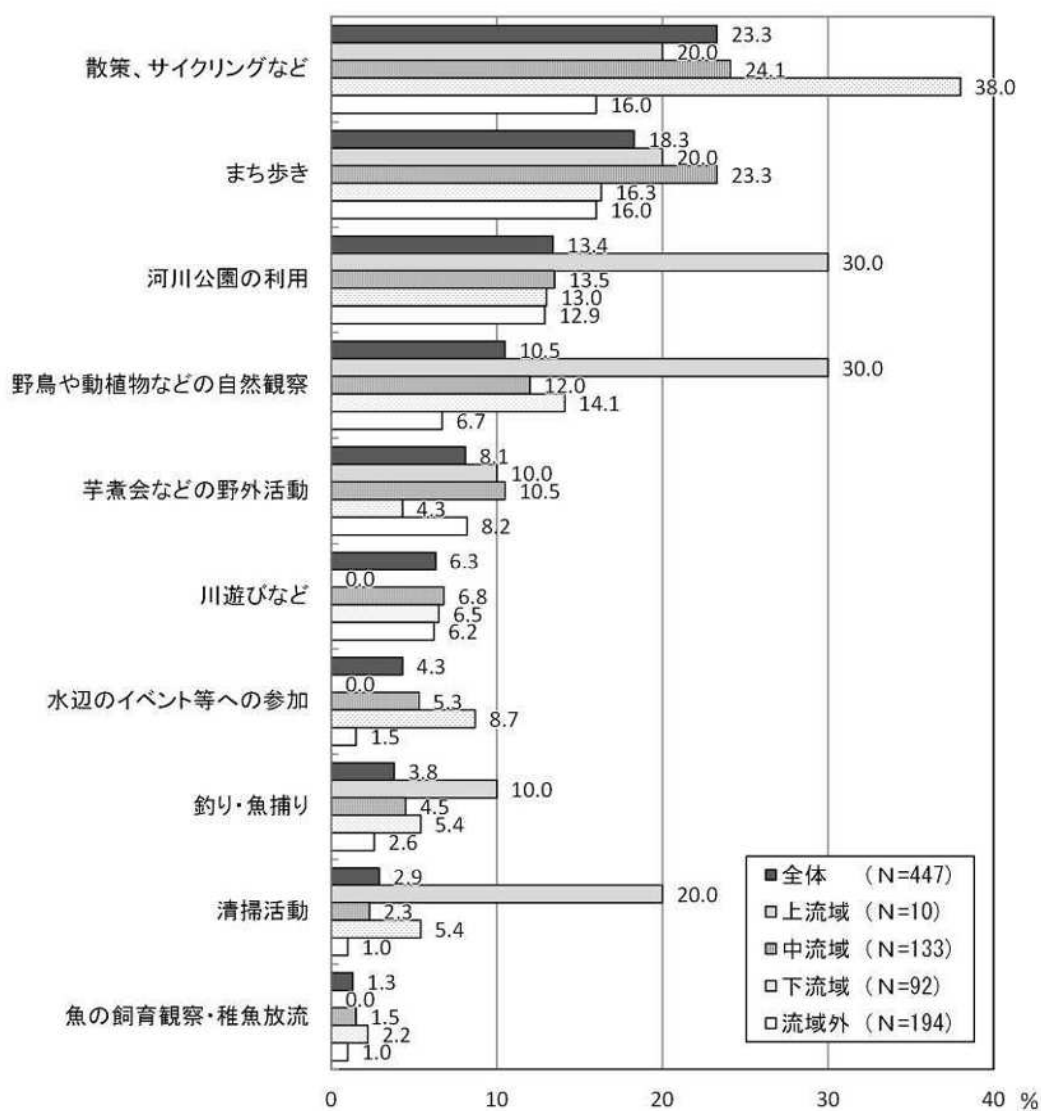
(3) 最近の「広瀬川」との関わりについて

市民がここ2～3年間で広瀬川に関連してどのようなことをしたかについて把握するための質問では、「散策、サイクリングなど」が23.3%、「まち歩き」が18.3%が続いている。

＜問9 ここ2～3年間の「広瀬川」との関わり(全体)＞



＜問9 ここ2～3年間の「広瀬川」との関わり(流域別)＞

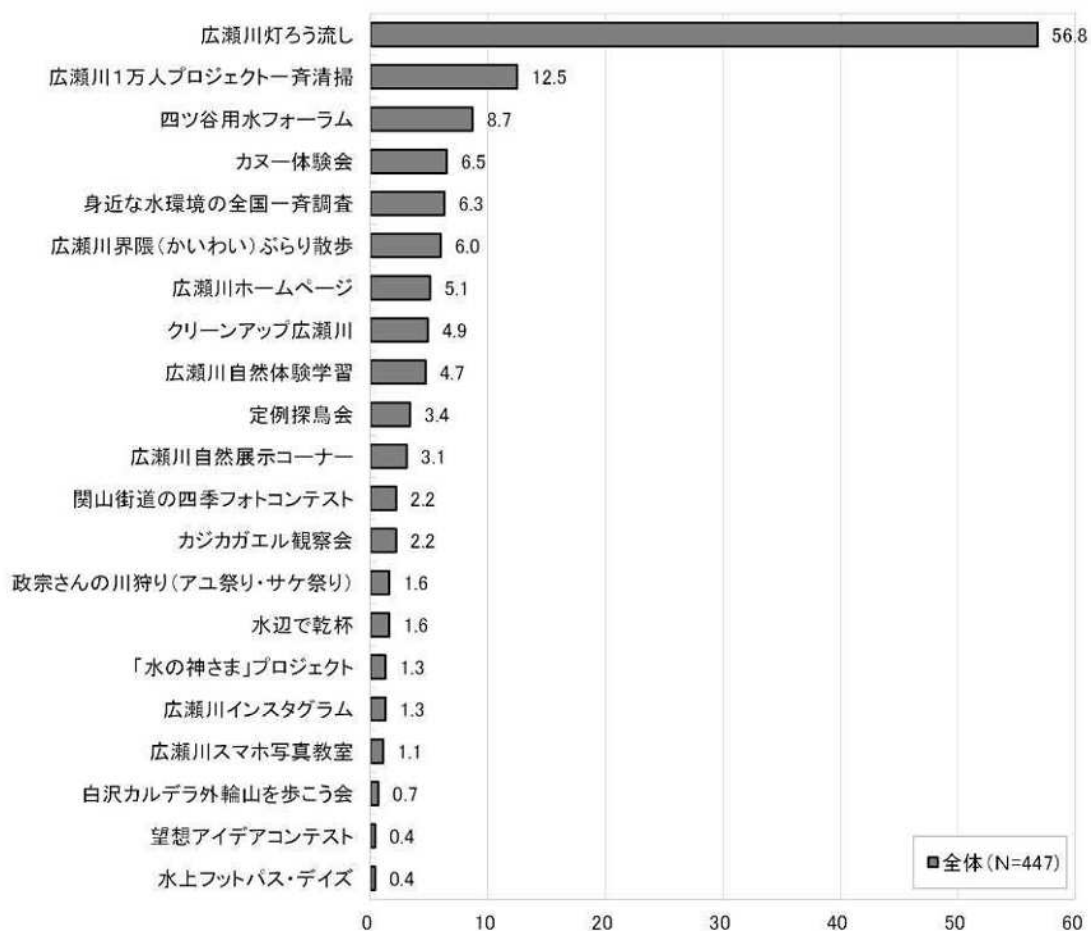


（４）「広瀬川」のイベントや取り組みの認知状況

広瀬川で行われている 21 の主なイベントや取り組みをあげて、認知状況を市民にたずねた。

「広瀬川灯ろう流し」が最も多く、56.8%と半数の人が認知している。次いで「広瀬川 1 万人プロジェクト一斉清掃」が 12.5%で続いている。

<問 10 「広瀬川創生プラン」の認知内容(全体)>

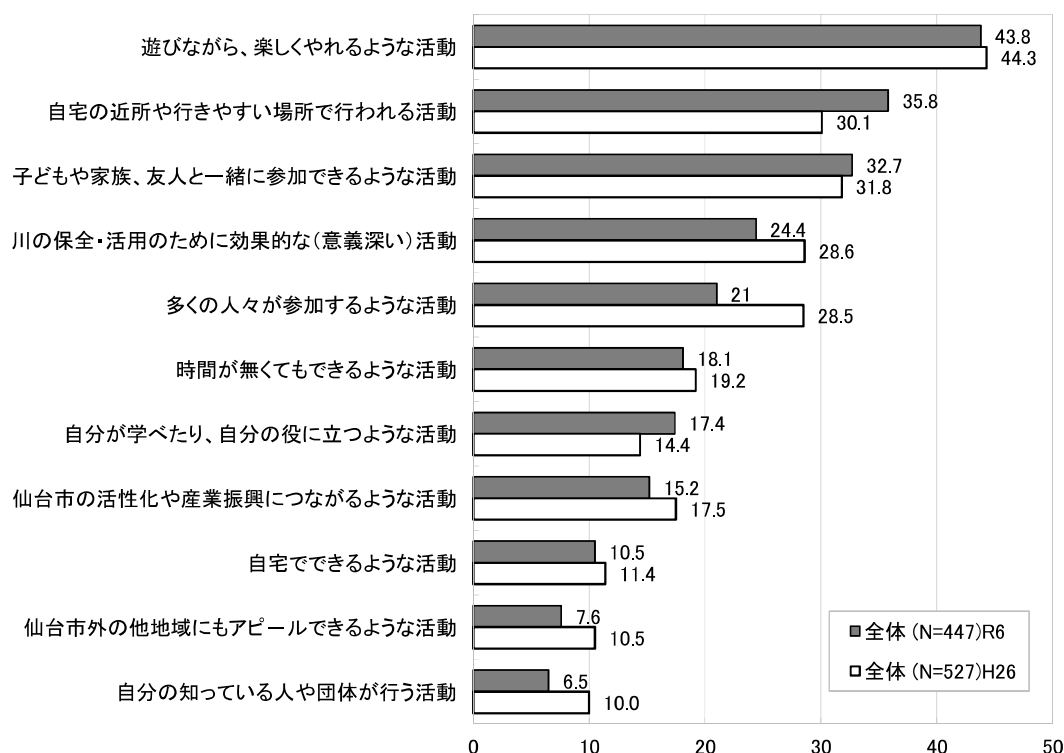


(5) 参加・協力したいと考える活動の内容

「広瀬川の保全」や「広瀬川に親しむ」活動がどのようなものであれば、参加・協力してみたい、又はより参加・協力しやすくなると考えるかをたずねた。

「遊びながら、楽しくやれるような活動」が43.8%と半数近くに達し最も多い。次いで「自宅の近所や行きやすい場所で行われる活動」(35.8%)、「子どもや家族、友人と一緒に参加できるような活動」(32.7%)が続いている。

<問 11 参加・協力したいと考える活動の内容(全体)>



5 「広瀬川」の保全・活用のためにしてみたいこと

広瀬川の保全・活用のためにしてみたいこと、広瀬川に関する意見・想いについての自由意見を取りまとめたところ、以下ようになった。

＜問12「広瀬川」の保全・活用のためにしてみたいこと＞

分類項目	件数
1 河川と周辺の整備	17
2 河川への思い出・愛着	16
3 イベントの開催や参加	15
4 自然環境保護（清掃活動除く）	13
5 清掃活動	15
6 情報提供	6
7 河川のPR	3
8 その他	13
9 特になし	11
計	109

以下に主な意見を抜粋する。

1 河川と周辺の整備について

- 市民の憩いになるような場所にして欲しい。ジョギング・散歩が楽しめるようキレイな道にして欲しい。【60歳代 中流】
- 広瀬川沿いに散歩道の整備。【50歳代 流域外】
- 京都の鴨川のように気軽に河畔に出入り出来る（どこでも）状態がうらやましい。【70歳以上 流域外】
- 河川敷の整備。／盛岡市北上川、開運橋付近のカフェの様な施設があれば、観光の為にもいいと思います（広瀬橋と新宮沢橋の間あたりに）。【60歳代 下流】
- 子どもから大人まで、自然の景観や動植物に恵まれた水辺に親しめる川として、広瀬川は他に類のない川であり（都市の中の自然のままの川）、そこから子どもたちが様々なことを体験し、遊びながら学べる自然の川としてしっかりと整備（子どもたちが安心して遊べる場として）をしていただければ幸いです。【70歳以上 中流】

2 河川への思い出・愛着について

- 自宅の近くにあり、季節を感じられるので大好きな川です。いつまでもきれいな川であって欲しいと思います。【50歳代 下流】
- 年に1回、職場の芋煮会で活用しています。楽しい思い出を重ねています。【30歳代 流域外】
- 社会人になった孫が広瀬川河岸を歩くのが好きで、片平辺りを一緒におしゃべりしながら、ゆったりと散策しました。よい時間で幸せなひとときでした。【70歳以上 下流】

3 イベントの開催や参加について

- 子供と一緒にできるイベントが昔あったならば、参加してみたかったです。【40 歳代 流域外】
- 自然観察学習の場として活用する際に、ボランティアとして参加したいです。【60 歳代 中流】
- カップ祭のようなイベントを復活させたい。鳳鳴四十八滝の景観をもっと見やすいようにし、もっと間近で見れるように川底付近まで降りられるよう遊歩道の整備をしてほしい。また、対岸に渡れるよう橋を掛けてほしい。【60 歳代 上流】

4 自然環境保護（清掃活動除く）について

- これからも清い流れで、市民に親しまれる川であってほしい。【60 歳代 中流】
- とても美しい広瀬川、仙台市民はだれもが大好きな場所、美しく保つ事は大変だとは思いますが、これからもどうぞよろしくお願い致します。【50 歳代 下流】

5 清掃活動について

- 川のごみ拾いをより積極的に行うべき。【30 歳代 中流】
- 広瀬川の清掃活動に参加したいと考えています。【70 歳以上 中流】

6 情報提供について

- 清掃活動には参加してみたいと思いますが、積極的に情報をとりに行っていないので、いつ行なわれているかわからないままになっています。【60 歳代 流域外】
- イベントがたくさんあっておどろいた。市政だより等でもっと多くの人に知ってほしいし、自分も知りたい。【40 歳代 流域外】

7 河川のPRについて

- 広瀬川の近くに住んでいないのでふれる事が少ない。CMなどで目にしたりすると意識づくと思いました。【40 歳代 流域外】

8 その他について

- 基本的に車を使って移動する人間です。川があって、景色が良くて、立ち寄りしたいな…と思ってても車で近づけない、車を停められないため足が向かない感じです。仙山線から見る景色は変化に富んでとても素敵だなと思っています。【50 歳代 中流】

(付)調査票

広瀬川に関する市民アンケート調査票

<ご協力のお願い>

このアンケートは仙台市が実施するものです。本調査の結果については、今後改定を予定している「広瀬川創生プラン」の検討に活用させていただきますので、宜しくご協力をお願い申し上げます。

本調査の実施にあたり、対象者となる方につきましては、統計的な手法により、住民基本台帳から無作為に選ばせていただきましたところ、あなた様にアンケートのご協力をお願いすることになりました。

本調査は無記名でお答えいただき、その結果は、「こういう意見の方が何パーセント」という形で集計しますので、あなた様の個人情報が外部に漏れたり、ご意見をお聞きしたことでご迷惑をおかけすることは一切ございませんので、ご安心ください。

調査結果につきましては、来年3月頃までに市政情報センターと区情報センターで閲覧できるようにするほか、仙台市が運営する広瀬川ホームページ
(<https://www.hirosegawa-net.com/>)でも公開する予定です。

回答にあたってのご注意

- ①このアンケートは、あなた様個人の考えをおたずねするものです。封筒のあて先名の方ご自身が、ご家族等とご相談することなく、お答えください。ただし、あて先名の方が健康上の理由などで回答できない場合は、ご家族の方が代わって回答していただいても結構です。
- ②調査の対象者は無作為に選ばせていただいておりますが、調査票が1世帯で2人以上に送付されることもあります。その場合は、あて先名の方がそれぞれお答えください。
- ③各質問の指示に従って、当てはまる番号に○印をご記入ください。質問によっては、選択肢の番号を記入したり、自由にご記入いただくものもあります。
- ④回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、8月27日までにポストにご投函ください。
- ⑤本調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせにつきましてはこちらをご利用ください
仙台市総合コールセンター「杜の都おしえてコール」
☎ 022-398-4894

「広瀬川」の範囲について

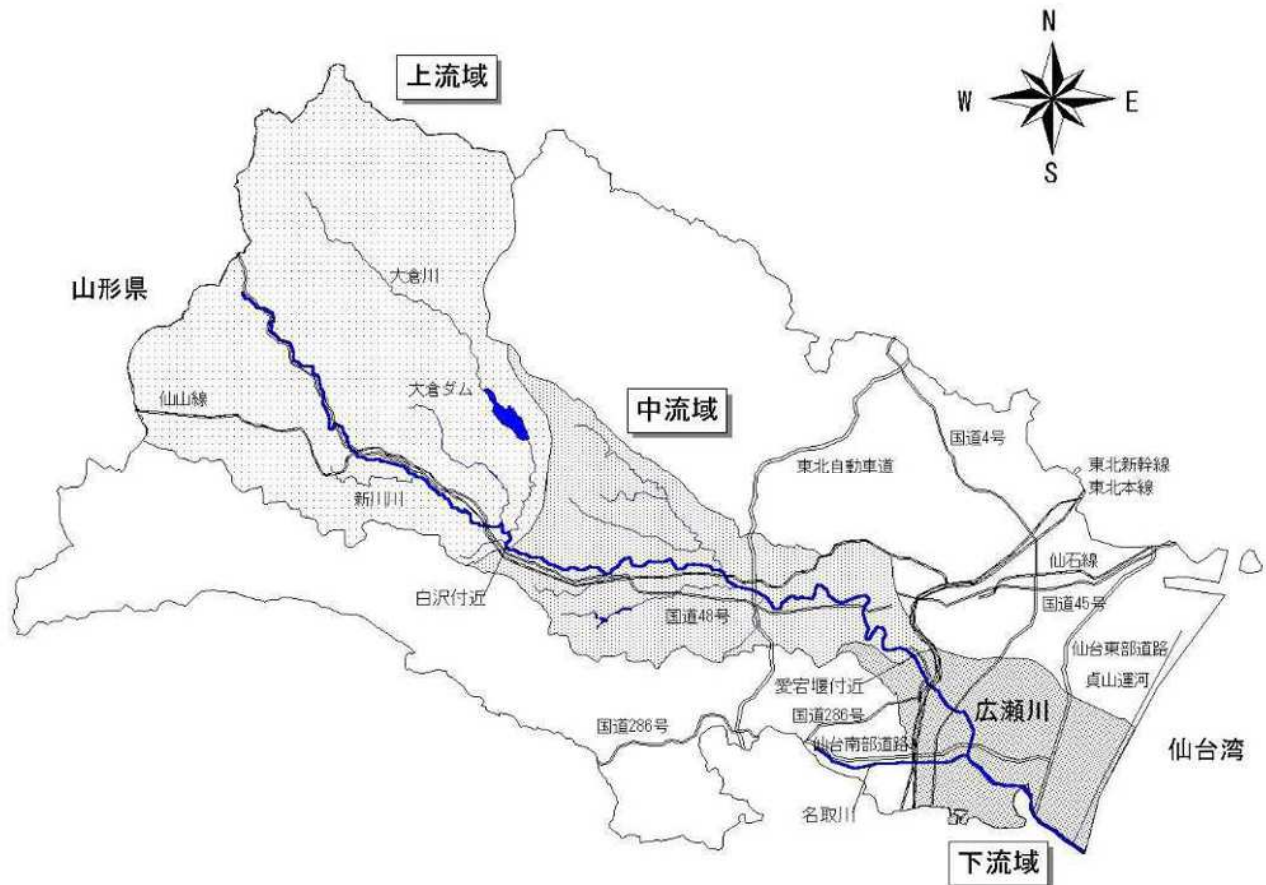
本調査では、「広瀬川」といった場合、広瀬川の本流以外にも、その支流や名取川合流後の河口までの部分も含めてお考えください。

また、本調査で、上流・中流・下流といった場合には、おおよその目安として下図および次のようにお考えください。

上流：源流～白沢（大倉川合流点付近）

中流：白沢～愛宕堰（愛宕橋付近）

下流：愛宕堰～河口（関上）



I. 広瀬川のイメージ等についておたずねします

問 1 あなたは、「広瀬川」について、どのようなイメージをお持ちですか。下表には、左と右にほぼ反対のイメージを並べてありますが、A～Qの各項目について、あなたの考えが左と右のどちらに近いかを選び、該当する番号を1つだけ記入欄に記入してください。

番号	1	2	3	4	5
あなたのイメージ	左に近い	どちらかといえば左に近い	どちらともいえない	どちらかといえば右に近い	右に近い

	左	右	記入欄
例	〇〇な川である	◇◇な川である	2
A	好きな川である	嫌いな川である	
B	宮城県で有名な川である	宮城県で無名な川である	
C	東北地方で有名な川である	東北地方で無名な川である	
D	全国的に有名な川である	全国的に無名な川である	
E	景観が美しい川である	景観が美しくない川である	
F	身近にあると感じる川である	遠くにあると感じる川である	
G	にぎやかな川である	さびしい川である	
H	荒々しい川である	穏やかな川である	
I	大きな川である	小さな川である	
J	自然の中の川である	街の中の川である	
K	変化に富んだ多様な川である	変化のない単調な川である	
L	流水量が豊かな川である	流水量が少ない川である	
M	近づきやすい川である	近づきにくい川である	
N	遊ぶのに安全な川である	遊ぶのに危険な川である	
O	水がきれいな川である	水が汚い川である	
P	市民生活に密着した川である	市民生活に関わりの薄い川である	
Q	人工的な川である	自然のままに近い川である	

問 2 あなたは、「広瀬川」について、どの程度関心をお持ちですか。次のうち該当する番号を1つだけ○印をつけてください。

1. 大に関心がある	☐	→ 次ページ問3にお進みください
2. ある程度関心がある	☐	
3. あまり関心がない	☐	→ 次ページ問2付問1にお進みください
4. 関心がない	☐	

《問2で「3. あまり関心がない」、または「4 関心がない」と回答の方に、おたずねします。》

問 2 付問 1 あなたが「広瀬川」に関心がない、またはあまり関心がないと答えられた主な理由は何ですか。次のうち該当する番号に3つまで○印をつけてください。

1. 「広瀬川」をよく知らないから
2. 「広瀬川」と自分の仕事や生活とは関わりが少ないから
3. 「広瀬川」を魅力的な川だとは思わないから
4. 「広瀬川」は自分の家から遠くにある川だから
5. 「広瀬川」では自分や家族が好む遊びなどが出来ないから
6. その他 ()

《全員の方に》

問 3 あなたは、「広瀬川」について、どのような考えをお持ちですか。A～Eの各項目について、あなたの考え方に最も近い番号を、記入欄に1つだけ記入してください。

番号	1	2	3	4	5
あなたの考え方	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない

		記入欄
例	〇〇は△△である	2
A	仙台市民の多くは「広瀬川」に愛着を持っている	
B	「広瀬川」は仙台市のシンボル（象徴）である	
C	「広瀬川」のような自然豊かな川を持つ大都市は少ない	
D	「広瀬川」の保全・活用に関する市民活動が活発である	
E	仙台市民は「広瀬川」を大事にしている	

Ⅱ. 広瀬川の将来像についておたずねします

問 4 あなたは、「広瀬川」のどのような良さを守り育み、次代に引き継いでいきたいと思いますか。
A～Eの各項目について、特に引き継ぎたいと思うものを選び、項目ごとに指定された数だけ該当する番号に○印をつけてください。

	引き継ぎたいと思う「広瀬川」の良さ		
A. 広瀬川の景観 (○印は4つまで)	1.手つかずの自然景観 4.河岸の崖が見える景観 7.ダム湖のある景観	2.街並みと調和する景観 5.田園風景と調和する景観 8.河口部の景観	3.蛇行する川の景観 6.河川敷公園のある景観
B. 広瀬川の水・流れ (○印は3つまで)	1.清らかな水 4.流域で湧き出る水	2.水量が豊かな流れ 5.流れ落ちる滝	3.瀬と淵がある変化に富んだ流れ 6.瀬音・せせらぎの音
C. 広瀬川に生息・ 生育する動植物 (○印は4つまで)	1.清流に生息する動物（ヤマメ、イワナ、カジカガエル、ホタル等） 2.川を遡上する魚（アユ、サケ、サクラマス等） 3.流域に生息する野鳥（セキレイ、カワセミ、チョウゲンボウ等） 4.流域の原生的自然に生息する獣（ニホンカモシカ、ツキノワグマ等） 5.流域の里山や水田等に生息する魚・昆虫（メダカ、トンボ等） 6.水辺や中州の植物（キシウブ、ハンノキ、ヤナギ等） 7.流域の雑木林（ケヤキ、コナラ、ミズナラ等） 8.上流にある原生林（ブナ林）		
D. 広瀬川に関わる 文化・伝統 (○印は2つまで)	1.川で行う年中行事や祭（灯ろう流し・七夕花火祭等） 2.河原で行う芋煮会 3.川にちなんで伝承されている昔話・伝説・説話 4.川をうたった詩や歌（土井晩翠の詩、青葉城恋唄等）		
E. 広瀬川に関わる 建造物等 (○印は3つまで)	1. 橋 4. 六・七郷堀	2. 堰 5. 三居沢発電所	3. 四ツ谷用水 6. 貞山運河

問 5 あなたは、将来、「広瀬川」をどのような川にしたいと思いますか。

A～Kに示した将来像について、「広瀬川の上流」、「広瀬川の中流」、「広瀬川の下流」の該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

なお、上流・中流・下流の区別は2ページの地図を参考にしてください。

「広瀬川」の将来像	1. 上流を そうしたい	2. 中流を そうしたい	3. 下流を そうしたい	4. そうしたいと 思わない
例. △△のような川	①	2	③	4
A. できるだけ人の手を入れない自然のままの川	1	2	3	4
B. 多様な動植物が良好に生息・生育する川	1	2	3	4
C. 多様な動植物の観察や生き物とふれあうことができる川	1	2	3	4
D. 洪水のない川	1	2	3	4
E. 水量が多く、水の豊かさを感じられる川	1	2	3	4
F. 景観が美しい川・眺めて美しい川	1	2	3	4
G. 市民が水に親しめるように水辺に近づける川	1	2	3	4
H. 子どもたちの安全のために水辺に近づけないようにした川	1	2	3	4
I. ボート遊びや河原での遊びがしやすい場がある川	1	2	3	4
J. 観光客が訪れる川・観光名所としての川	1	2	3	4
K. イベントやレクリエーション活動が活発に行われる川	1	2	3	4

問 6 問5のA～Kに示したこと以外で、広瀬川の将来像についてご意見やお考えがあれば、記入してください。

Ⅲ. 広瀬川に関わる活動についておたずねします

問 7 あなたが、＜A.「広瀬川」を見る回数＞と＜B.「広瀬川の水辺」を訪れる回数＞は、1年間でどれくらいですか。過去3年くらいを振り返って、AとBそれぞれについて、選択肢の中から該当する番号を記入欄に1つだけ記入してください。

内容	記入欄
記入例	2
A.「広瀬川」を見る回数	
B.「広瀬川の水辺」を訪れる回数	

【選択肢】

1. ほぼ毎日	2. 2～3日に1回程度	3. 1週間に1回程度
4. 半月に1回程度	5. 1ヵ月に1回程度	6. 2～3ヵ月に1回程度
7. 半年に1回程度	8. 1年に1回程度	9. ほとんどない

問 8 「広瀬川創生プラン」および「広瀬川市民会議」を知っていますか。それぞれ該当する番号に 1 つだけ○印をつけてください。

広瀬川創生プラン	1. 知っている	2. 知らない
広瀬川市民会議	1. 知っている	2. 知らない

問 9 あなたはここ2～3年間で、「広瀬川」に関連してどのようなことをしましたか。該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 清掃活動	2. 釣り・魚捕り	3. 魚の飼育観察・稚魚放流
4. 野鳥や動植物などの自然観察	5. 川遊びなど	6. 散策、サイクリングなど
7. まち歩き	8. 河川公園の利用	9. 芋煮会などの野外活動
10. 水辺のイベント等への参加	11. その他（	）

問 10 あなたは、下表の広瀬川で行われている主なイベントや取り組みを知っていますか。該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

1. 広瀬川1万人プロジェクト一斉清掃	2. 定例探鳥会	3. 「水の神さま」プロジェクト
4. 身近な水環境の全国一斉調査 （広瀬川の水質調査）	5. 望想アイデアコンテスト	6. クリーンアップ広瀬川 （カヌーで河川清掃）
7. カヌー体験会	8. 政宗さんの川狩り（アユ祭り・サケ祭り）	9. 広瀬川灯ろう流し
10. 関根街道の四季フォトコンテスト	11. 白沢カルデラ外輪山を歩こう会	12. 水辺で乾杯
13. 水上フットパス・デイズ	14. 広瀬川界限（かいわい）ぶらり散歩	15. カジカガエル観察会
16. 四ツ谷用水フォーラム	17. 広瀬川自然展示コーナー （片平市民センター内の展示コーナー）	18. 広瀬川ホームページ
19. 広瀬川インスタグラム	20. 広瀬川自然体験学習	21. 広瀬川スマホ写真教室
22. その他（		）

問 10 付問 1 問 10 で知っているとお答えいただいたイベントや取り組みのうち、実際に参加・協力したことがあるイベントや取り組みを記入してください。

問 11 「広瀬川の保全」や「広瀬川に親しむ」活動がどのようなものであれば、あなたは、参加・協力してみたい、又はより参加・協力しやすくなると思いますか。次のうち、該当する番号に 4 つまで○印をつけてください。

1. 遊びながら、楽しくやれるような活動	2. 自分の知っている人や団体が行う活動
3. 多くの人が参加するような活動	4. 川の保全・活用のために効果的な（意義深い）活動
5. 仙台市の活性化や産業振興につながるような活動	6. 仙台市以外の他地域にもアピールできるような活動
7. 自分が学べたり、自分の役に立つような活動	8. 自宅の近所や行きやすい場所で行われる活動
9. 自宅でできるような活動	10. 時間が無くてもできるような活動
11. 子どもや家族、友人と一緒に参加できるような活動	12. その他（

問 12 あなた自身が「広瀬川」の保全・活用のためにしてみたいことがあれば、下欄にご自由にご記入ください。また、「広瀬川」に関するご意見や想いをご記入いただいても結構です。

Ⅳ. 最後にあなた自身のことについておたずねします

下表のA～Fの各々について、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

A. 年齢	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上		
B. お住まいの区	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区		
C. お住まいの 中学校区 【学校名 五十音順】	【あ～】 1.秋保 2.愛宕 3.五橋 4.岩切 5.生出 6.大沢 7.沖野 8.折立 【か～】 9.蒲町 10.上杉山 11.加茂 12.北仙台 13.向陽台 14.広陵 15.郡山 16.五城 【さ～】 17.幸町 18.桜丘 19.三条 20.七郷 21.将監 22.将監東 23.松陵 24.住吉台 【た～】 25.第一 26.第二 27.台原 28.高砂 29.高森 30.田子 31.長命ヶ丘 32.鶴が丘 33.鶴谷 34.寺岡 35.東華 36.富沢 【な～】 37.中田 38.中野 39.長町 40.中山 41.七北田 42.南光台 43.南光台東 44.錦ヶ丘 45.西多賀 46.西山 47.根白石 【は～】 48.八軒 49.東仙台 50.人來田 51.広瀬 52.袋原 【ま～】 53.南小泉 54.南中山 55.南吉成 56.宮城野 57.茂庭台 【や～】 58.八乙女 59.館 60.八木山 61.柳生 62.山田 63.吉成 【ら～】 64.六郷 ※中学校区がわからない場合は、お住まいの住所を丁目まで、記入してください。 <table> <tr> <td>区</td><td>丁目</td></tr> </table>	区	丁目
区	丁目		
D. 仙台在住の年数	1. 1年未満 2. 1年以上3年未満 3. 3年以上10年未満 4. 10年以上20年未満 5. 20年以上		
E. お住まいから 「広瀬川」までの時間	1. 徒歩で5分以内 2. 徒歩で15分以内 3. 徒歩で30分以内 4. 徒歩で30分以上 5. 分からない		
F. 職場・学校から 「広瀬川」までの時間	1. 徒歩で5分以内 2. 徒歩で15分以内 3. 徒歩で30分以内 4. 徒歩で30分以上 5. 勤めも就学もしていない		

ご協力ありがとうございました。